

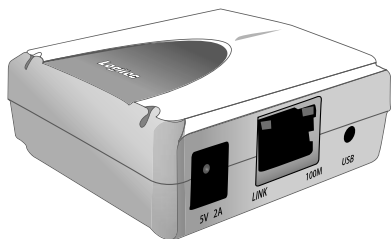
Device Server

USB2.0対応デバイスサーバ

LAN-DVS/U2



User's Manual

このマニュアルは、別冊の「セットアップガイド」とあわせてお読みください



はじめに	P1
安全にお使いいただくために	P2
もくじ	P4
本製品の導入手順	P13
本製品の基本操作	P57
ユーティリティのリファレンス	P75
こんなときは	P104

●このマニュアルで使われている記号

記号	意味
	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバ、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTP サイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- このマニュアルの著作権は、ロジテック株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外国為替法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- 本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。日本国外での使用による結果について弊社は一切の責任を負いません。また、本製品について海外での保守、サポートはおこなっておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および™は省略しています。

LAN-DVS/U2

User's Manual

ユーザーズマニュアル

■ はじめに ■

このマニュアルは、ロジテックのデバイスサーバ“LAN-DVS/U2”をお使いのネットワーク（LAN）に導入するための手順と、付属の管理ソフトの使い方について説明しています。



導入手順はネットワーク環境によって異なりますので、必ず別紙「デバイスサーバ セットアップガイド」でご使用のネットワーク環境のパターンと導入作業の流れを確認したうえで、このマニュアルの「導入編」の該当ページをお読みください。

このマニュアルでは一部の表記を除いて各製品名を「本製品」と表記しています。







このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

警告

-  本製品の取り付け、取り外しのときは、必ずこのマニュアル、パソコン本体、および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。
-  本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。
-  ACアダプタは本製品に付属のものを使用してください。また、ACアダプタは国内の商用電源100V以外は使用しないでください。付属のもの以外のACアダプタを使用すると、火災や故障の原因になります。
-  本製品から煙やへんな臭いがしたときは、直ちにACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
-  本製品に水などの液体や異物が入った場合は、直ちにACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
-  本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。

注 意



本製品を次のようなところで使用しないでください。

- ・高温または多湿なところ，結露を起こすようなところ
- ・直射日光のあたるところ
- ・平坦でないところ，土台が安定していないところ，振動の発生するところ
- ・静電気の発生するところ，火気の周辺



長期間本製品を使用しないときは，ACアダプタを抜いておいてください。
故障の原因になります。

もくじ

はじめに	1
安全にお使いいただくために	2
もくじ	4

Chapter 1 概要編

1. 製品の保証について	6
2. 本製品の概要について	7
本製品の特長	7
3. 本体各部の名称とはたらき	9
4. 付属品について	10
5. 本製品の使用環境	11
使用環境	11
設定, 管理クライアント環境	11

Chapter 2 導入編

1. 本製品をネットワークに接続しましょう	14
2. プリンタドライバをインストール しましょう	15
3. ソフトウェアをインストール しましょう	16
ネットワーク環境の確認	16
パソコンのネットワーク設定を確認する	17
ソフトウェアのインストール (Windows Vista)	29
ソフトウェアのインストール (Windows XP/2000)	32
ソフトウェアのアンインストール	38
4. 本製品の設定をしましょう	41
本製品の設定 (Windows Vista)	41
本製品の設定 (Windows XP/2000)	45
5. テスト印刷をしましょう	48
6. 導入後のご使用にあたって	50
7. 本製品のIPアドレスを変更する	54

Chapter 3 基本操作編

1. プリンタの利用	58
プリンタから印刷する	58
プリンタの設定を変更する	60
2. スキャナの利用	61
スキャナを導入する	61
スキャナを操作する	61
3. マスストレージ, 複合機搭載機能の利用	67
FAXの利用	67
ストレージデバイス (マスストレージ) の利用	68
4. 接続機器の取り外し	70
5. 切断通知を送信/受信する	72
切断通知を送信する	72
切断通知を受信する	74

Chapter 4 応用操作編

1. Device Serverユーティリティの リファレンス	76
メイン画面	77
[サーバー設定] 画面	81
2. Web設定ユーティリティについて	86
Web設定ユーティリティの表示方法	87
Web設定ユーティリティの リファレンス	90
3. ファームウェアのアップデート	99
4. 本製品のリセットボタンの使用方法	102

Chapter 5 付録編

1. こんなときは	104
2. 基本仕様	111

Chapter 1

概要編

本製品の概要について説明しています。

別冊「セットアップガイド」もあわせてお読みください。

1. 製品の保証について …………… 6
2. 本製品の概要について …………… 7
3. 本体各部の名称とはたらき …………… 9
4. 付属品について …………… 10
5. 本製品の使用環境 …………… 11

製品の保証とサービス

本製品には保証書が付いています。内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、保証書に記載された保証規定をお確かめください。

●その他のご質問などに関して

別冊の「セットアップガイド」の、「サポートサービスについて」をお読みください。

2

本製品の概要について

本製品の特長

本製品は、USBポートを搭載したマストレージ(USBハードディスクなど)、プリンタ(複合機を含む)、スキャナ、カードリーダーなどに接続可能なデバイスサーバです。USB機器を接続した本製品をネットワークに接続することで、ネットワーク内のパソコンからUSB機器を利用できます。USBハブを併用することで、最大4台のUSB機器を管理できます。

双方向通信に対応していますので、本製品経由で各メーカーのプリンタに付属のユーティリティでインク残量などを確認できます。

管理ソフトはTCP/IPプロトコルに対応していますので、環境を選ばずに印刷設定、管理が可能です。

※本製品はWindowsにのみ対応しています。

●マストレージに対応

プリンタだけでなく、USBハードディスク、USBメモリ、USBカードリーダーなどのマストレージを、ネットワーク経由でローカルな機器として使用できます。

●双方向通信に対応

各メーカーのプリンタには、インク残量や紙詰まり情報などを確認できるユーティリティが付属しています。本製品は双方向通信に対応していますので、双方向通信機能を利用したこれらのユーティリティを本製品経由で利用できます。

●USB 2.0 High-Speedに対応したプリンタを接続可能

「USB 2.0 High-Speed」対応ポートを搭載したプリンタに接続して、そのスピードを活かした高速通信が可能です。

※従来のUSB 1.1対応ポートを搭載したプリンタに接続して印刷することもできます。

●USB 2.0 High-Speedに対応したスキャナを接続可能

「USB 2.0 High-Speed」対応ポートを搭載したスキャナに接続して、スキャンしたデータをパソコンに取り込むことができます。

※ 従来のUSB 1.1対応ポートを搭載したスキャナにも対応しています。

※ スキャナからの取り込みは、パソコンからの操作のみに対応しています。
スキャナ本体の操作による取り込みには対応していません。

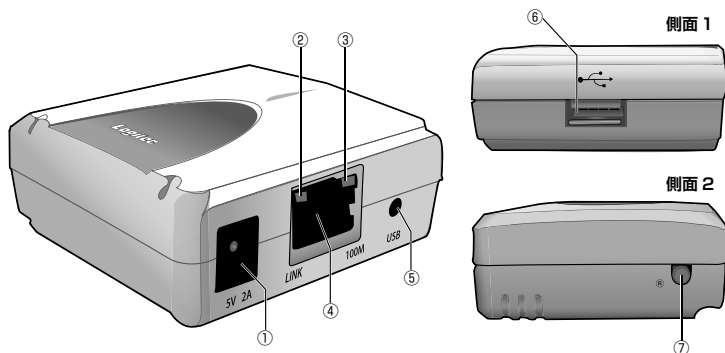
※ TWAINドライバを搭載したユーティリティのみ利用できます。

※ USBバスパワーでは使用できません。

●TCP/IPを利用した管理/設定環境

本製品はTCP/IPプロトコルに対応しています。本製品の設定や管理は、Webブラウザ（Internet Explorer 6.0以降）でおこなうことができます。

3 本体各部の名称とはたらき



① DCジャック

本製品に付属のACアダプタを接続します。
必ず本製品に付属のACアダプタをご使用ください。

② LANステータスランプ (LINK)

ネットワークとリンクが確立しているときに、オレンジ色に点灯します。
データ送受信しているときは点滅します。

③ LANステータスランプ (100M)

100BASE-TXでリンクが確立しているときに、緑色に点灯します。
データ送受信しているときは点滅します。

④ LANポート

ルータやハブなどのネットワーク機器とLANケーブルで接続します。
LANケーブルは別売です。

⑤ USBランプ (USB)

USB機器を接続しているときに、オレンジ色に点灯します。
データ送受信しているときは点滅します。

⑥ 接続ポート (USBコネクタA, メス)

付属のUSBケーブルでUSB機器のUSBポートに接続します。

⑦ リセットスイッチ (R)

本製品の再起動、初期化をおこないます。
「本製品のリセットボタンの使用方法」(P102)をお読みください。

4 付属品について

本製品の付属品について説明します。

ACアダプタ

本製品に電源を供給します。添付のACアダプタ以外は使用しないでください。

USBケーブル

USB 2.0 High-Speedに対応した、約22cmのUSBケーブルです。
本製品のUSBポートとプリンタなどUSB機器のUSBポートを接続します。

5 本製品の使用環境

本製品は、次の環境でご使用ください。

設定、管理に使用するパソコンは、LAN環境に接続されている必要があります。

使用環境

本製品経由でLANに接続されたUSB機器を使用するためには、次の環境が必要です。

対応パソコン	Windowsが動作するパソコン
ネットワークプロトコル	TCP/IP
USB機器のドライバ	使用するUSB機器の、Windowsに対応したドライバ
プリンタドライバ (プリンタを接続する場合)	使用するプリンタの、Windowsに対応したプリンタドライバ



本製品は、Windows Printing Systemには対応していません。また、すべてのパソコン/OS環境からの動作を保証するものではありません。

設定、管理クライアント環境

本製品の初期設定は、Webベースのソフトウェアでおこないます。

また、本製品経由で使用するUSB機器の接続/切断、ステータスの確認などは、デバイスサーバのユーティリティソフトでおこないます。

対応パソコン	各社DOS/Vパソコン ※LAN環境に接続されている必要があります。
対応OS (日本語OSのみ)	Windows Vista (32ビット版) Windows XP Home Edition (SP2以降) Windows XP Professional Edition (SP2以降) Windows 2000 Professional (SP4以降)
対応ブラウザ	Internet Explorer 6.0以降

[× モ]

Chapter 2

導入編

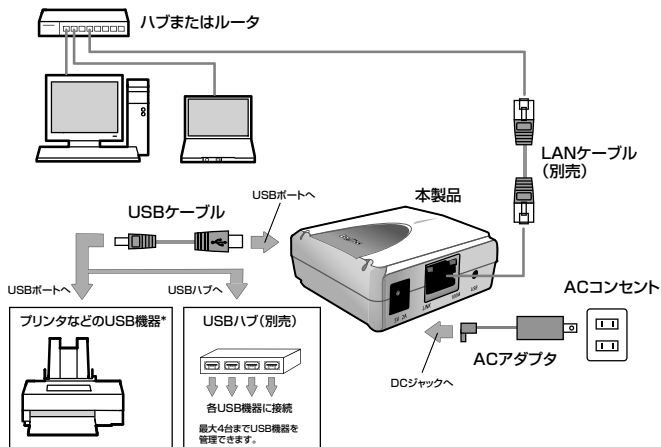
導入編では、本製品をネットワークに導入する手順について説明します。
別冊の「セットアップガイド」もあわせてお読みください。

1. 本製品をネットワークに接続しましょう 14
2. プリンタドライバをインストールしましょう 15
3. ソフトウェアをインストールしましょう 16
4. 本製品の設定をしましょう 41
5. テスト印刷をしましょう 48
6. 導入後のご使用にあたって 50
7. 本製品のIPアドレスを変更する 54

1

本製品をネットワークに接続しましょう

本製品を、ご利用のネットワーク環境に接続します。



* プリンタ複合機 (プリンタにスキャナやFAXなどの機能を統合した製品) を接続した場合は、スキャナ、FAX、メモリーカードも本製品経由で利用できます。

- 1** 別売のLANケーブルで、本製品のLANポートと、ネットワーク機器 (ルータまたはハブ) のLANポートを接続します。
- 2** 付属のACアダプタを本製品に接続し、ACコンセントに差し込みます。
- 3** 付属のUSBケーブルで、本製品の接続ポートとUSB機器を接続します。
- 4** USB機器の電源を入れます。

本製品をネットワークに接続したら、「2. プリンタドライバをインストールしましょう」に進んでください。

2 プリンタドライバをインストールしましょう

プリンタ以外のUSB機器を使用する場合は、この作業は必要ありません。
「3. ソフトウェアをインストールしましょう」に進んでください。

本製品を利用するネットワーク上の各パソコンに、使用するプリンタに付属のドライバ、ユーティリティをインストールします。

すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、この作業は必要ありません。「3. ソフトウェアをインストールしましょう」に進んでください。

プリンタドライバ、ユーティリティのインストール前に、必ず下記の注意事項をお読みください。



- プリンタドライバのインストールの中には、インストール中にプリンタを検索するものがあります。ネットワーク経由でプリンタが接続されている場合、いつまでも検索中になることがあります。そのような場合は検索を中止してインストールを続けてください。
- プリンタによっては、プリンタドライバ、ユーティリティのインストール中にプリンタの接続を要求し、プリンタを接続して電源を入れないとインストールが完了できないものがあります。そのような場合は、ここでインストールせず、「4. 本製品の設定をしましょう」でインストールをおこなってください。
- インストール中、どのプリンタポートを使用するかを尋ねられた場合は、「LPT1」を選択してインストールを続けてください。実際に使用するプリンタポートは、本製品にプリンタを接続したときに自動的に設定されます。
- プリンタドライバは、最新のものを推奨します。必要に応じて各メーカーのホームページなどから最新のドライバを入手してください。

プリンタドライバのインストールが終わったら、「3. ソフトウェアをインストールしましょう」に進んでください。

3 ソフトウェアをインストールしましょう

本製品のドライバ、およびユーティリティソフト「Device Serverユーティリティ」*をインストールします。インストールの前に、ご利用のネットワーク環境を確認し、本製品のネットワーク設定を決めます。

* Windows XP/2000のみ



Windows Vistaでは、「Device Serverユーティリティ」を使用しません。
USB機器の接続/切断はWindows Vistaの「ネットワーク探索」機能を使用します。

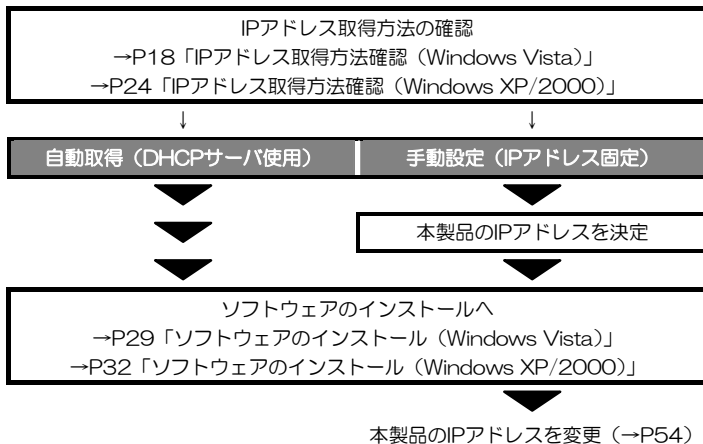
ネットワーク環境の確認

まず、P17「パソコンのネットワーク設定を確認する」をお読みになり、ご利用のネットワーク環境がDHCPサーバを使用しているか/していないかを確認します。DHCPサーバを使用していない場合は、本製品のIPアドレスを他のネットワーク機器と重ならないように割り当てます。

MEMO

本製品の工場出荷時の設定は、DHCPサーバからIPアドレスを取得するようになっているため、IPアドレスが固定されたネットワークに接続する場合は、本製品の設定を変更する必要があります。

＜ネットワーク環境の確認手順＞



本製品は、異なるセグメント間の利用（ルータを越えた利用）に対応しておりません。同一セグメント内で使用してください。

パソコンのネットワーク設定を確認する

お使いのパソコンのIPアドレスを確認します。
確認手順はOSにより異なります。ご使用のOSの説明をお読みください。

○Windows Vista

→ IPアドレス取得方法確認（Windows Vista）（P18）

○Windows XP、Windows 2000

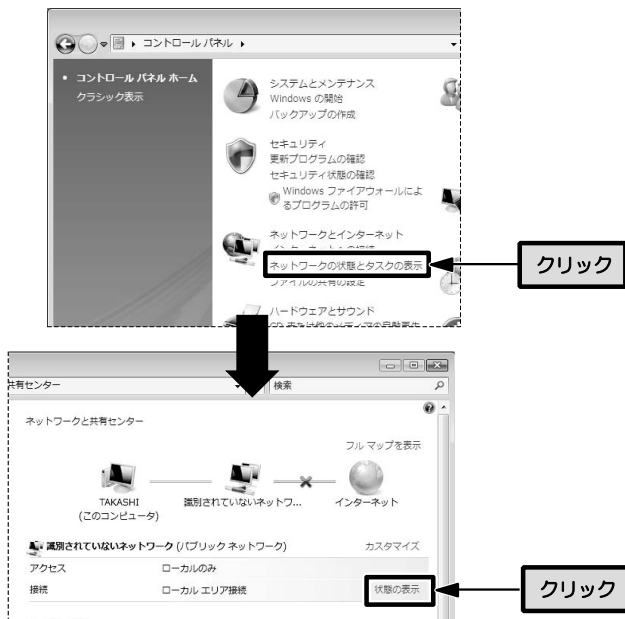
→ IPアドレス取得方法確認（Windows XP/2000）（P24）

3. ソフトウェアをインストールしましょう

IPアドレス取得方法確認 (Windows Vista)

Windows Vistaをご使用の場合、IPアドレス取得方法確認手順を説明します。

- 1** ローカルエリア接続のプロパティを表示するために、<ネットワーク接続の管理>画面を表示します。



複数のユーザーアカウントを使用している場合は、管理者権限があるユーザーアカウントでログオンしてください。詳しくは、P56「Windows Vista、Windows XPの管理者権限について」をお読みください

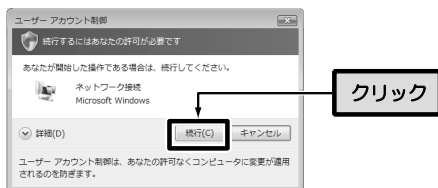
- ① [スタート]ボタン→[コントロールパネル]を選択します。
- ② <コントロールパネル>画面にある[ネットワークの状態とタスクの表示]をクリックします。クラシック表示の場合は[ネットワークと共有センター]アイコンをダブルクリックし、手順③へ進みます。

③ 〈ネットワークと共有センター〉画面にある[状態の表示]をクリックします。

2 **プロパティ** ボタンをクリックします。

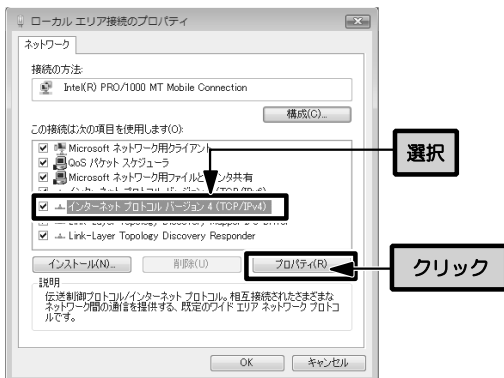


〈ユーザーアカウント制御〉画面が表示された場合は、**続行** ボタンをクリックして操作を続けます。



3. ソフトウェアをインストールしましょう

- 3** インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)を選択し、**プロパティ**ボタンをクリックします。



※ [ローカルエリア接続]の名称は、LANアダプタをインストールした環境によって変わります。

MEMO

プロパティボタンが選択できない状態の場合

[インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]を有効にします。
インターネットプロトコルバージョン6(TCP/IPv6)は、対応のルータまたはネットワークに接続している場合のみ設定してください。

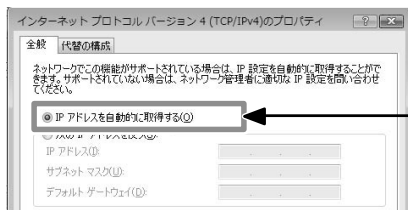
- 4** インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティを確認します。

● 「IPアドレスを自動的に取得する」が選択されている場合

DHCPサーバ機能があるネットワークに接続されています。

本製品の設定を変更する必要はありません。

→手順5（P22）に進んでください。



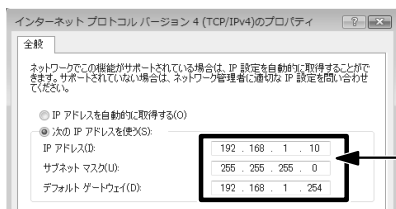
DHCPサーバ機能がある
ネットワークに接続されています。

● 「次のIPアドレスを使う」が選択されている場合

各項目の設定値をメモし、ネットワーク内で重複しないように本製品のIPアドレスを決定します。設定値をメモしたら、手順5（P22）に進んでください。



本製品は、異なるセグメント間の利用（ルータを越えた利用）に対応しておりません。本製品を使用するパソコンのIPアドレスを同じセグメントに合わせる必要があります。



この部分をメモする

画面の数値は一例です。
実際にはご使用の環境の
数値が表示されます。

3. ソフトウェアをインストールしましょう

<メモ欄：パソコンのネットワーク設定>

IPアドレス	
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	

<メモ欄：本製品のネットワーク設定>

IPアドレス	
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	

(設定例)

◆パソコンのIPアドレスが「192.168.1.10」の場合

本製品のIPアドレスは、「192.168.1.11」など、「192.168.1.1」～「192.168.1.253」の範囲内で、他のネットワーク機器と重複しない値に設定します。

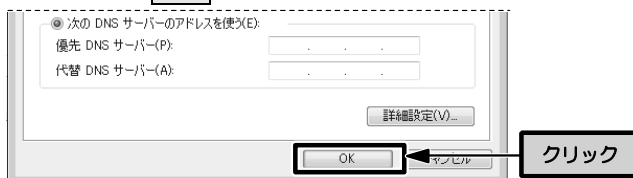
※どんな数値を入力したらよいのかわからない場合

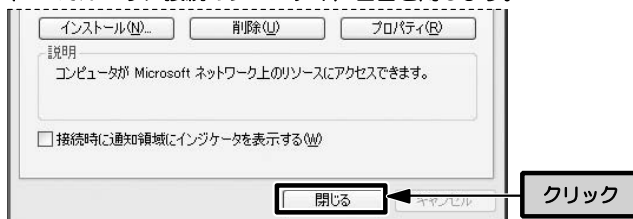
ホームユースやSOHOなどで、特に決まった数値を入力する必要がないネットワーク環境では、次を参考に入力します。

- ・IPアドレスは「192.168.1.11」から順に各パソコンに割り当ててください。同じ数値のパソコンが複数あると動作しません。
- ・サブネットマスクは「255.255.255.0」にしてください。
- ・デフォルトゲートウェイは「192.168.1.254」にしてください。
- ・サブネットマスクとデフォルトゲートウェイはすべてのパソコンで同じ数値にしてください。

5

確認が終わったら、**OK** ボタンをクリックします。



6 <ローカルエリア接続のプロパティ> 画面を閉じます。**7** これでIPアドレスの確認は完了です。

IPアドレスの確認が終わったら、P29「ソフトウェアのインストール」に進んでください。

IPアドレス取得方法確認 (Windows XP/2000)

Windows XP/2000をご使用の場合、IPアドレス取得方法確認手順を説明します。説明の画面例はWindows XPを使用していますがWindows 2000でも操作手順は同じです。

- 1** ローカルエリア接続のプロパティを表示します。Windows XPとWindows 2000で表示方法が異なります。

●Windows XPの場合

複数のユーザーアカウントを使用している場合は、管理者権限があるユーザーアカウントでログオンしてください。

詳しくは、P54「Windows Vista, Windows XPの管理者権限について」をお読みください

- ① [スタート]→[コントロールパネル]を選択します。
- ② <コントロールパネル> 画面にある[ネットワークとインターネット接続]を選択します。クラシック表示の場合は[ネットワーク接続]アイコンをダブルクリックし、手順へ進みます。
- ③ <ネットワークとインターネット接続> 画面にある「コントロールパネルを選んで実行します」の[ネットワーク接続]を選択します。

●Windows 2000の場合

- ① Windows 2000には管理者(Administrator)権限でログオンしておきます。
- ② [スタート]→[設定]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]を選択します。

- 2** 「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックし、メニューの「プロパティ」を選択します。



※ [ローカルエリア接続]の名称は、LANアダプタをインストールした環境によって変わります。

- 3** インターネットプロトコル (TCP/IP) を選択し、**プロパティ**をクリックします。



3. ソフトウェアをインストールしましょう



プロパティが選択できない状態の場合

[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を有効にします。

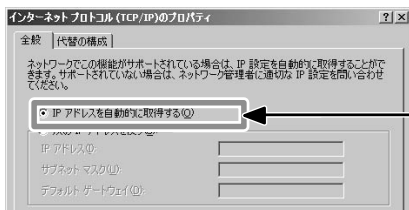
4 インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティを確認します。

● 「IPアドレスを自動的に取得する」が選択されている場合

DHCPサーバ機能があるネットワークに接続されています。

本製品の設定を変更する必要はありません。

→手順5 (P27)に進んでください。



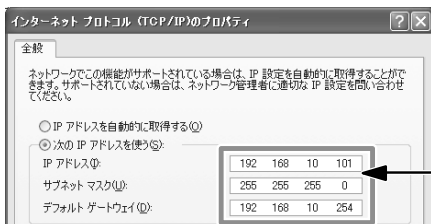
DHCPサーバ機能がある
ネットワークに接続されています。

● 「次のIPアドレスを使う」が選択されている場合

各項目の設定値をメモし、ネットワーク内で重複しないように本製品のIPアドレスを決定します。設定値をメモしたら、手順5 (P27)に進んでください。



本製品は、異なるセグメント間の利用（ルータを越えた利用）に対応しておりません。本製品を使用するパソコンのIPアドレスを同じセグメントに合わせる必要があります。



この部分をメモする

画面の数値は一例です。
実際にはご使用の環境の
数値が表示されます。

<メモ欄：パソコンのネットワーク設定>

IPアドレス	
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	

<メモ欄：本製品のネットワーク設定>

IPアドレス	
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	

(設定例)

◆パソコンのIPアドレスが「192.168.1.10」の場合

本製品のIPアドレスは、「192.168.1.11」など、「192.168.1.1」～「192.168.1.253」の範囲内で、他のネットワーク機器と重複しない値に設定します。

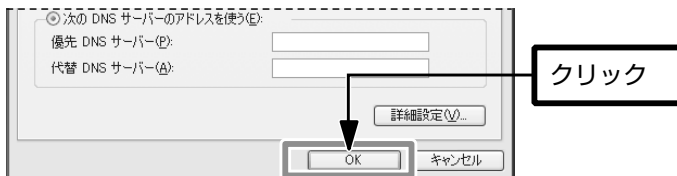
※どんな数値を入力したらよいかわからない場合

ホームユースやSOHOなどで、特に決まった数値を入力する必要がないネットワーク環境では、次を参考に入力します。

- ・IPアドレスは「192.168.1.11」から順に各パソコンに割り当ててください。同じ数値のパソコンが複数あると動作しません。
- ・サブネットマスクは「255.255.255.0」にしてください。
- ・デフォルトゲートウェイは「192.168.1.254」にしてください。
- ・サブネットマスクとデフォルトゲートウェイはすべてのパソコンで同じ数値にしてください。

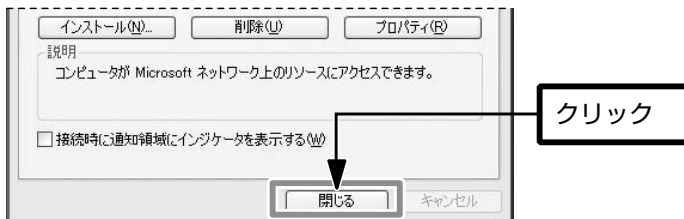
5

確認が終われば、OKボタンをクリックします。



3. ソフトウェアをインストールしましょう

6 <ローカルエリア接続のプロパティ> 画面を閉じます。



- ・ Windows XPでは、**閉じる**をクリックします。ただし、手順5で**キャンセル**をクリックした場合は、**OK**が表示されます。
- ・ Windows 2000では、**OK**をクリックします。

7 これでIPアドレスの確認は完了です。

IPアドレスの設定が終わったら、P32「ソフトウェアのインストール」に進んでください。

ソフトウェアのインストール (Windows Vista)

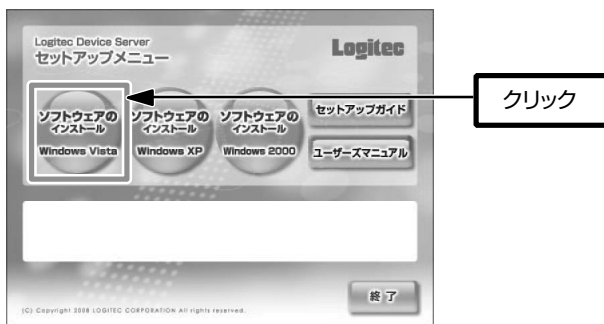
本製品に付属のソフトウェアパック (CD-ROM) から、セットアッププログラムを実行し、本製品のドライバソフトをインストールします。

MEMO

ソフトウェアは、ネットワークで本製品を使用するすべてのパソコンにインストールする必要があります。まず、1台のパソコンで正常に動作することを確認してから、ほかのパソコンにインストールしてください。

1 ソフトウェアをインストールするパソコンの電源を入れて、Windows を起動します。

2 付属のソフトウェアパック (CD-ROM) をドライブにセットします。しばらくするとセットアップメニューが表示されますので、「ソフトウェアのインストール (Windows Vista)」をクリックします (セットアップメニューは自動的に終了します)。



● 自動的にセットアップメニューが表示されない場合は次の操作で表示させてください。

- ① [マイコンピュータ] などを使って CD-ROM の内容を開きます。
- ② 「menu.exe」アイコンをダブルクリックします。

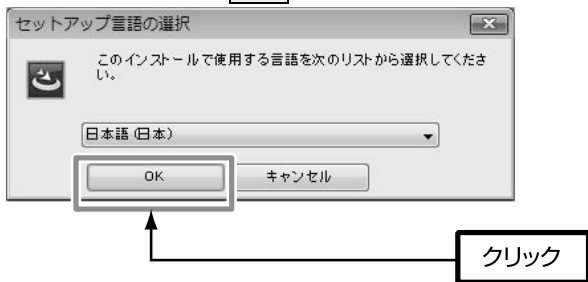
※ 操作①でCD-ROMアイコンをダブルクリックしただけで、セットアップメニューが表示される場合もあります。

3. ソフトウェアをインストールしましょう

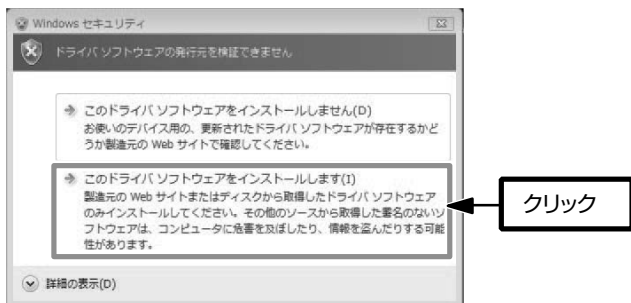
- 【ユーザーアカウント制御】画面が表示された場合は、**許可**をクリックして操作を続けてください。

MEMO インストールプログラムは、各OS用に分かれています。
使用しないOS用のボタンはクリックしないでください。

- 3** 「セットアップ言語の選択」画面が表示されますので、「日本語」が選択されていることを確認して **OK** をクリックします。



- 4** 途中で、次の画面が表示されることがありますが、「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックして操作を続けてください。ドライバソフトは、弊社で正常に動作することを確認済みです。



- 5** セットアップが完了すると、次の画面が表示されます。**完了**をクリックします。



これで、ソフトウェアのインストールはすべて完了です。
引き続き、P41「4. 本製品の設定をしましょう」に進んでください。

3. ソフトウェアをインストールしましょう

ソフトウェアのインストール (Windows XP/2000)

本製品に付属のソフトウェアパック (CD-ROM) から、セットアッププログラムを実行し、本製品のユーティリティとドライバソフトをインストールします。Windows XPを例に説明していますが、特に断りがないかぎりWindows 2000でも操作は同じです。

インストールは、次の手順でおこないます。

- 〈1〉 ユーティリティのインストール
- 〈2〉 ドライバのインストール

MEMO

ソフトウェアは、ネットワークで本製品を使用するすべてのパソコンにインストールする必要があります。まず、1台のパソコンで正常に動作することを確認してから、ほかのパソコンにインストールしてください。

ユーティリティのインストール

- 1** ソフトウェアをインストールするパソコンの電源を入れて、Windows を起動します。
- 2** 付属のソフトウェアパック (CD-ROM) をドライブにセットします。しばらくするとセットアップメニューが表示されますので、ご使用のOS用の「ソフトウェアのインストール」をクリックします (セットアップメニューは自動的に終了します)。



ご使用のOSに対応するボタンをクリック

- 自動的にセットアップメニューが表示されない場合は次の操作で表示させてください。

① [マイコンピュータ]などを使ってCD-ROMの内容を開きます。

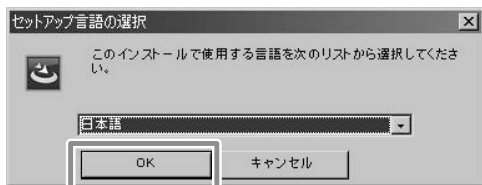
② 「menu(.exe)」アイコンをダブルクリックします。

※ 操作①でCD-ROMアイコンをダブルクリックしただけで、セットアップメニューが表示される場合もあります。



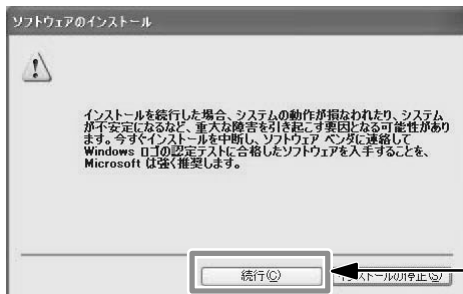
インストールプログラムは、各OS用に分かれています。
使用しないOS用のボタンはクリックしないでください。

- 3 「セットアップ言語の選択」画面が表示されますので、「日本語」が選択されていることを確認して **OK** をクリックします。



クリック

- 4 途中で、次の画面が表示されることがありますが、そのまま **続行** をクリックします。ユーティリティソフトは、弊社で正常に動作することを確認済みです。



クリック

3. ソフトウェアをインストールしましょう

- 5** セットアップが完了すると、次の画面が表示されます。**完了**をクリックします。



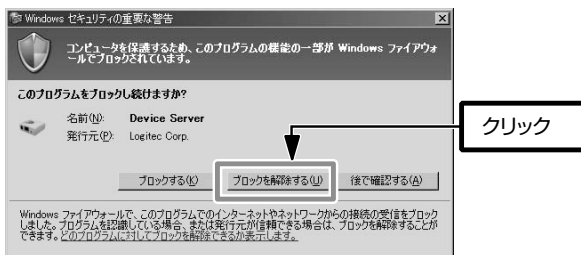
これで、ソフトウェアのインストールは完了です。
引き続き、P41「4. 本製品の設定をしましょう」に進んでください。

ドライバのインストール

本製品を使用するためには、ユーティリティのほかに、「Network USB Device」をインストールする必要があります。

「Network USB Device」のインストールは、ユーティリティのインストール終了後、はじめてユーティリティを起動したときに自動的に始まります（初回のみ）。

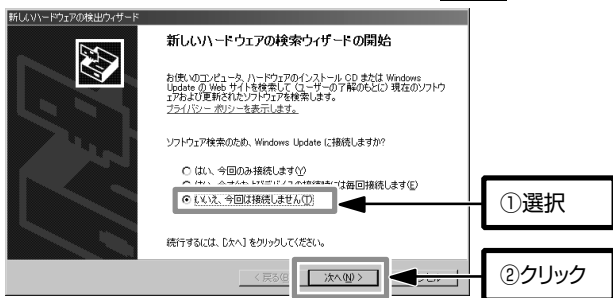
- 1** Windows XPで「Windowsファイアウォール」を有効にしている場合、次の画面が表示されますので、**ブロックを解除する**をクリックします。



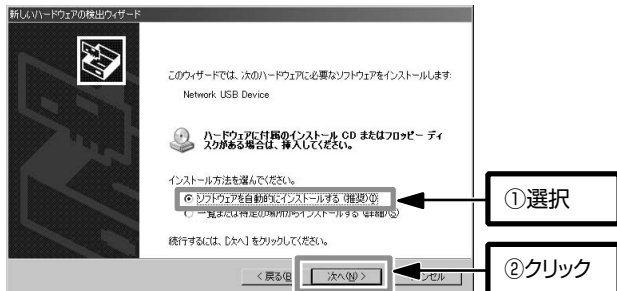
このダイアログは、本製品の双方向通信機能がWindowsファイアウォールによるブロックの対象となるために表示されます。本製品を使用するには、「ブロックを解除する」を選択して本製品の通信をWindowsファイアウォールの対象外にする必要があります。

MEMO Windowsファイアウォール以外のファイアウォールソフトを使用している場合にも同様のメッセージが表示されますので、本製品をファイアウォールの対象から外してください。操作方法については、ファイアウォールソフトのマニュアルをお読みください。

- 2** 「新しいハードウェアの検索ウィザード」が自動的に起動します。
「いいえ、今回は接続しません」を選択して、**次へ**をクリックします。

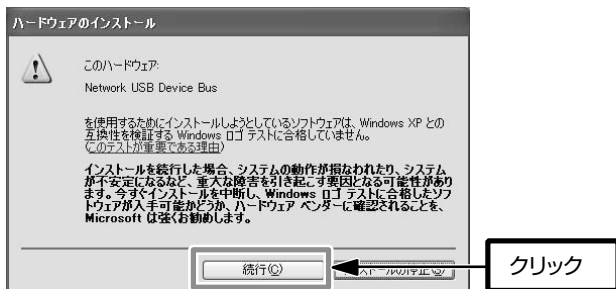


- 3** 「ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)」を選択して、**次へ**をクリックします。



3. ソフトウェアをインストールしましょう

- 4** 途中で、次の画面が表示されることがありますが、そのまま **続行** をクリックします。本製品は、弊社で正常に動作することを確認済みです。



- 5** セットアップが完了すると、次の画面が表示されます。 **完了** をクリックします。



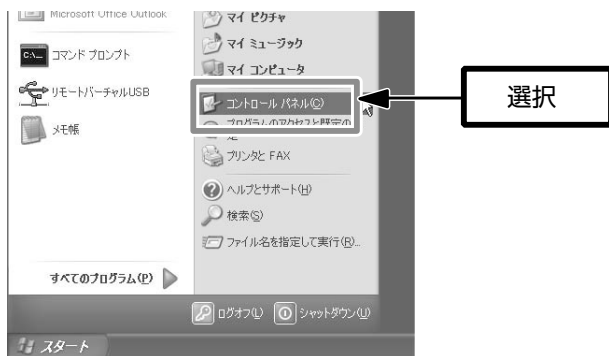
これで、ドライバのインストールは完了です。

ソフトウェアのアンインストール

ソフトウェアのアンインストールは、コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」からおこないます。

※Windows XPの場合を例に説明しています。

- 1** スタートメニューから[コントロールパネル]を選択します。



- 2** 「プログラムの追加と削除」をクリックします。



Windows Vistaでは、「プログラムのアンインストール」をクリックします。

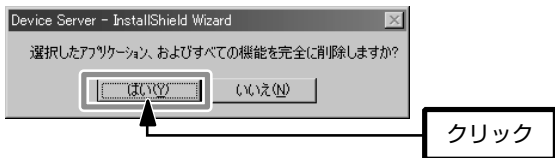
3. ソフトウェアをインストールしましょう

- 3 「Device Server」を選択し、**削除**をクリックします。



Windows Vistaでは、「アンインストールと変更」をクリックします。「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示されますので、**続行**をクリックして操作を続けます。

- 4 確認ダイアログが表示されますので、**はい**をクリックします。



- 5 削除が成功すると、次のダイアログが表示されますので、**完了**をクリックします。



- 6** 次の画面が表示されたら、「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を選択して、**完了** をクリックします。パソコンを再起動したらアンインストールは完了です。



Windows Vistaでは、このメッセージは表示されません。再起動する必要はありません。

4 本製品の設定をしましょう

本製品にUSB機器を接続し、本製品を経由して利用できるようにします。
OSによって操作が異なりますので、ご使用のOSの説明をお読みください。

OWindows Vistaの場合 →このあと

OWindows XP/2000の場合 →P45

本製品の設定 (Windows Vista)

Windows Vistaで本製品に接続するには、[ネットワーク]画面から「ネットワーク探索」機能を利用しておこないます。

ここでは、マストレージを接続する場合を例に説明します。

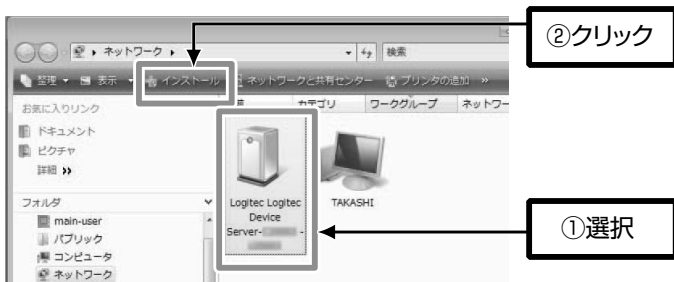


P16「ネットワーク環境の確認」で本製品にIPアドレスを割り当てた場合は、以下の作業を始める前に、本製品にIPアドレスを割り当ててください(→P54「本製品のIPアドレスを変更する」)。ご使用の環境によっては、Web設定ユーティリティにアクセスするために、いったん本製品をDHCPサーバ機能が有効なルータなどに接続する必要があります。

1 スタートメニューから[ネットワーク]を選択します。

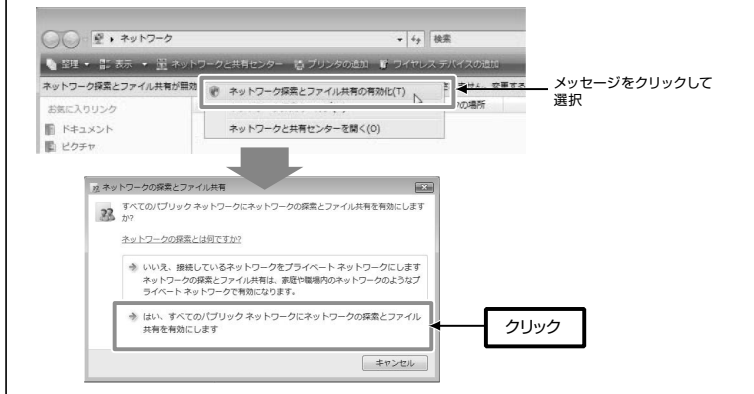


- 2** ネットワーク上に接続された本製品が検索され、本製品のアイコン「Logitech Logitec Device Server-XXXXXX-XXXXXX」が表示されます。選択して、「インストール」をクリックします。



「XXXXXX」には、本製品のMACアドレスの下位6桁が表示されます。

「ネットワーク探索とファイル共有が無効になっています」と表示された場合は、メッセージをクリックして「ネットワーク探索とファイル共有の有効化」を選択してください。確認画面が表示されますので、「はい」を選択します。



MEMO

ネットワーク上で本製品を2台以上使用する場合は、同じ名称にならないように変更する必要があります。サーバ名の変更は、Web設定ユーティリティの[設定]→[サーバ設定]でおこないます(→P94)。

4. 本製品の設定をしましょう



ご使用のネットワーク内にDHCPサーバが存在しない場合に、本製品のアイコンが表示されないことがあります。いったん本製品をDHCPサーバ機能が有効なルータなどに接続し、本製品にIPアドレスを割り当ててください（→P54「本製品のIPアドレスを変更する」）。

- 3** [ユーザーアカウント制御] 画面が表示された場合は、**続行** をクリックして操作を続けます。



- 4** 本製品が正常に認識されると、アイコンが製品本体の形状に変わります。



アイコンの形状が本製品の外形に変わります。

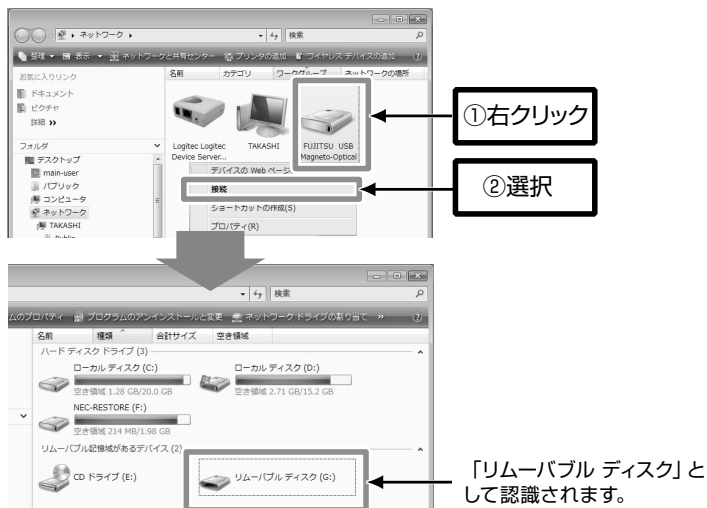
- 5** まだUSB機器を接続していない場合は、添付のUSBケーブルで、本製品とUSB機器を接続します。

まだプリンタドライバをインストールしていない場合は、本製品にプリンタを接続する前にプリンタドライバをインストールしてください。



プリンタによっては、プリンタドライバ、ユーティリティのインストール中にプリンタの接続を要求し、プリンタを接続して電源を入れないとインストールが完了できないものがあります。そのような場合は、ここで、プリンタのマニュアルを参照して指示に従ってインストールをおこなってください。

- 6** 自動的にUSB機器が認識され、USB機器のアイコンが表示されます。アイコンを右クリックして、[接続] を選択します。これで、[リムーバブル ディスク] として認識され、使用できるようになります。



選択したUSB機器をダブルクリックすることでも接続できます。



USB機器のアイコンを右クリックしたときに [接続] が表示されず、[ドライバがインストールされていないか...] と表示されることがあります。このような場合はドライバが正常にインストールされていない可能性があります。P108「ドライバの正常インストール確認 (Windows Vista)」をお読みになり、ドライバを再インストールしてください。

デバイスの Web ページの表示(V)

ドライバがインストールされていないか、

ショートカットの作成(S)

プロ/ティ(R)

これで、本製品の設定は完了です。プリンタを接続した場合は、「5. テスト印刷をしましょう」をお読みになり、正常に印刷できるか確認してください。

4. 本製品の設定をしましょう

本製品の設定 (Windows XP/2000)

Windows XP/2000で本製品に接続するには、スタートメニューに登録されたユーティリティ「Device Serverユーティリティ」を使用しておこないます。Windows XPを例に説明しますが、Windows 2000でも操作は同じです。



P16「ネットワーク環境の確認」で本製品にIPアドレスを割り当てた場合は、以下の作業を始める前に、本製品にIPアドレスを割り当ててください(→P54「本製品のIPアドレスを変更する」)。

1

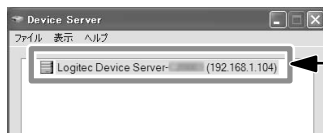
スタートメニューから[(すべての)プログラム]→[Logitech]→[Device Server]→[Device Serverユーティリティ] を選択します。



ユーティリティをインストール後はじめて起動する場合、ここで「新しいハードウェアの検索ウィザード」が起動します。画面の指示に従ってドライバをインストールしてください。手順についてはP34「ドライバのインストール」をお読みください。

2

ネットワーク上に接続された本製品が検索され、本製品のサーバ名(ネットワーク上での名称)「Logitech Device Server-XXXXXX (IPアドレス)」が表示されます。



サーバ名が表示されます。

「サーバ名」の初期値は本製品のMACアドレスによって変わります。

●サーバ名の初期値

初期値：Logitech Device Server-（MACアドレス）

（MACアドレス）の部分には、本製品のMACアドレス下位6桁が表示されません。ネットワーク上で本製品を2台以上使用する場合は、同じ名称にならないように変更する必要があります。サーバ名の変更は、Web設定ユーティリティの[設定]→[サーバ設定]でおこないます（→P94）。

MEMO

[サーバ名]に使用できる文字は半角15文字までです。英数字のほか「-（ハイフン）」が使用できます。大文字/小文字は区別されません。全角文字を使用した場合、環境によっては正常に動作しません。

3

まだUSB機器を接続していない場合は、添付のUSBケーブルで、本製品とUSB機器を接続します。

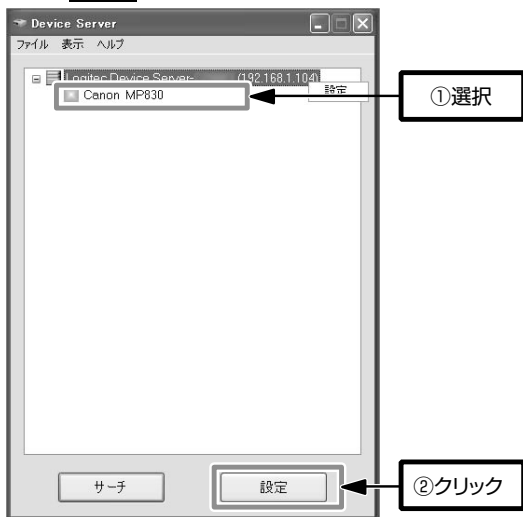
まだプリンタドライバをインストールしていない場合は、本製品にプリンタを接続する前にプリンタドライバをインストールしてください。



プリンタによっては、プリンタドライバ、ユーティリティのインストール中にプリンタの接続を要求し、プリンタを接続して電源を入れないとインストールが完了できないものがあります。そのような場合は、ここで、プリンタのマニュアルを参照して指示に従ってインストールをおこなってください。

4. 本製品の設定をしましょう

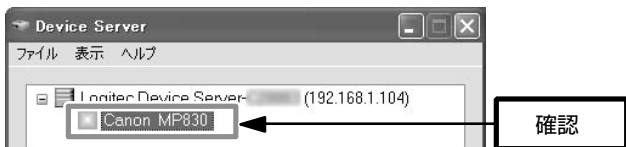
- 4** USB機器の電源を入れます。ユーティリティ画面に表示されたUSB機器を選択し、**接続**をクリックします。



デバイスを選択すると、ボタンの名称が「設定」→「接続」に変わります。

MEMO 選択したUSB機器をダブルクリックすることでも接続できます。

- 5** 自動的にUSB機器がWindowsに認識され、使用できるようになります。ユーティリティ画面のUSB機器横のアイコンがオレンジ色に変わることを確認してください。



デバイスに接続すると、アイコンの色が緑色→オレンジ色に変わります。

これで、本製品の設定は完了です。

USBメモリなどのマスタストレージを接続した場合は、「リムーバブル ディスク」として認識され、使用できるようになります。

プリンタを接続した場合は、「5. テスト印刷をしましょう」をお読みにになり、正常に印刷できるか確認してください。

5 テスト印刷をしましょう

本製品にプリンタを接続した場合は、本製品を経由して印刷できるかテストしてください。印刷設定などは実際にご使用になるプリンタの画面に合わせて設定してください。画面例はWindows XPを使用していますが、他のOSでも操作手順は同じです。

MEMO

ネットワーク上の機器の電源について

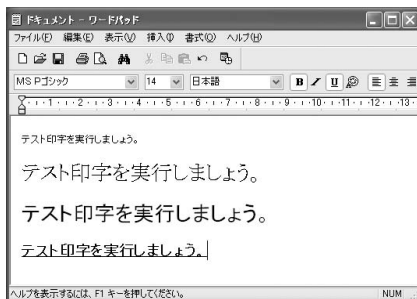
本製品を経由して印刷を実行するには、印刷を実行するパソコン以外に、ルータ、ハブの電源(ネットワークに存在する場合)、本製品、プリンタの電源を入れておく必要があります。

1 プリンタの電源が入っていることを確認します。

2 Windows 標準のワープロ機能であるワードパッドを起動します。

- ・ [スタート]→[(すべての)プログラム]→[アクセサリ]から選択できます。
- ・ 他のアプリケーションを使用してもかまいません。

3 適当な文字を入力し、文字の種類や大きさを変えたり、修飾機能を使ったりしてサンプル文書を作成します。



4 [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

5 **印刷** ボタンをクリックします。**6** 正常に印刷できれば、すべての作業は完了です。
テストに使用したアプリケーションを終了します。

6 導入後のご使用にあたって

Windows Vistaでの接続と切断

初期設定後は、本製品が「ネットワーク」画面に表示されるようになります。USB機器の接続と切断は、「ネットワーク」画面でおこないます。接続した機器は、ネットワーク内のパソコンで共有できますが、一度に接続できるパソコンは1台のみです。



ネットワーク内で本製品に接続したUSB機器を共有するには、利用する各パソコンにユーティリティをインストールする必要があります。

●USB機器の接続

USB機器を接続するには、「ネットワーク」画面でUSB機器を選択して右クリックし、「接続」を選択します。

USB機器のアイコンをダブルクリックしても接続できます。

●USB機器の切断

USB機器を接続するには、「ネットワーク」画面でUSB機器を選択して右クリックし、「切断」を選択します。



本製品を使用するときは、タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」を利用せず、ユーティリティから切断を実行してください。

●接続時の競合

本製品に接続したUSB機器は、ネットワーク内の1台のパソコンのみ使用できます。他のパソコンがUSB機器を使用しているときは、切断を促すメッセージを送信できます。

→P72「切断通知を送信／受信する」を参照してください。

Windows XP/2000での接続と切断

本製品に接続したUSB機器を使用するときは、「Device Serverユーティリティ」を起動し、使用したい機器に接続する必要があります。

接続した機器は、ネットワーク内のパソコンで共有できますが、一度に接続できるパソコンは1台のみです。



「Device Serverユーティリティ」を起動するだけでは、USB機器を利用することはできません。ユーティリティ上でUSB機器の接続を実行する必要があります。

●Device Serverユーティリティの起動と終了

Device Serverユーティリティを起動するには、[スタート] ボタン→ [(すべての)プログラム] → [Logitech] → [Device Server] → [Device Serverユーティリティ] を選択します。



Device Serverユーティリティを終了するには、ユーティリティのメニューから [ファイル] → [終了] を選択します。「閉じる」ボタン (X) をクリックしても終了できます。

ユーティリティを常駐させたまま画面を閉じたい場合は、ウィンドウの最小化ボタンをクリックします。

●USB機器の接続

USB機器への接続は、ユーティリティ上でUSB機器を選択し、**接続**をクリックします。USB機器をダブルクリックしても接続できます。

正常に接続されると、アイコンの色が緑色からオレンジ色に変わります。

●USB機器の切断

USB機器の接続を解除するには、ユーティリティ上でUSB機器を選択し、**切断**をクリックします。切断が完了すると、アイコンの色がオレンジ色から緑色に変わります。



本製品を使用するときは、タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」を利用せず、ユーティリティから切断を実行してください。

●接続時の競合

本製品に接続したUSB機器は、ネットワーク内の1台のパソコンのみ使用できます。他のパソコンがUSB機器を使用しているときは、切断を促すメッセージを送信できます。

→P72「切断通知を送信/受信する」を参照してください。

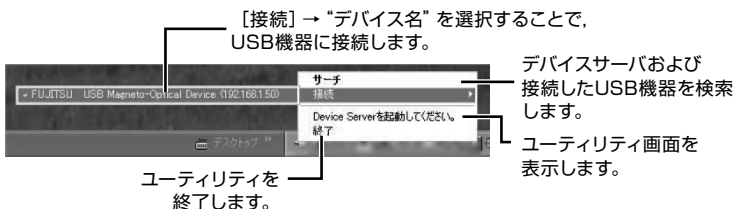
●アイコンの色

USB機器のアイコンの色は、機器の利用状態によって次のように変わります。

アイコンの色	機器の利用状態
緑色	対象のUSB機器は使用可能です。
オレンジ色	自分のパソコンがUSB機器を接続して使用中です。
赤色	ネットワーク上の別のパソコンがUSB機器を接続して使用中です。USB機器は使用できません。
青色	本製品が別セグメントのネットワークにあります。USB機器は使用できません。

●タスクトレイのアイコン

タスクトレイアイコンを右クリックすると、サブメニューが表示されます。ここからでも接続/切断制御ができます。



USB機器の接続数

本製品には、USBポートが1つ装備されています。

USBポートに別売のUSBハブを接続することで、最大4台のUSB機器を接続／管理できます。



USBバスパワーだけでUSB機器が動作しない場合は、USB機器に付属のACアダプタを接続して電源を供給してください。

7 本製品のIPアドレスを変更する

本製品のIPアドレスの変更は、次の手順でおこないます。

○Windows Vistaの場合

Web設定ユーティリティを利用して変更します。

→P94「[設定]メニュー」を参照してください。

○Windows XP/2000の場合

Web設定ユーティリティのほか、ユーティリティソフト「Device Serverユーティリティ」を利用して変更できます。このあとの説明をお読みください。

「Device Serverユーティリティ」を利用したIPアドレスの変更

「Device Serverユーティリティ」を利用したIPアドレス設定の変更手順を説明します。

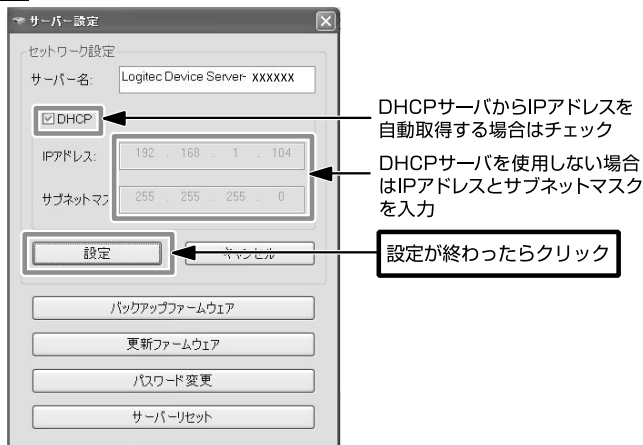
1 P45の手順1, 2を参照し、ユーティリティを起動します。

2 サーバを右クリックし、表示されたメニューから[設定]を選択します。



USBデバイスが接続状態（アイコンがオレンジ色または赤色）の場合は、サーバを右クリックしても[設定]が表示されません。このような場合は、すべてのUSBデバイスを切断した状態にしてやり直してください。

- 3** [サーバー設定] 画面が表示されます。IPアドレスの設定を変更し、**設定** ボタンをクリックします。



- 4** ユーティリティ画面に戻りますので、サーバ名のIPアドレス表示が変わることを確認してください。これでIPアドレスの変更は完了です。



IPアドレス設定変更の結果、次のような状態になった場合は、正常に本製品が使用できません。ネットワーク設定を確認して、IPアドレス設定をやり直してください。

- デバイスのアイコンが青色に変わる
→本製品のIPアドレスが異なるセグメントになっています。
- IPアドレスが「169.xxx.xxx」に変わる
→DHCPサーバから正常にIPアドレスを取得できていません。

Tips Windows Vista, Windows XP の管理者権限について

Windows Vista または Windows XP を起動すると、「開始するにはユーザー名をクリックしてください。」と表示されることがあります。これは複数のユーザーアカウントが登録されているためです。このような場合は、必ず「パソコンの管理者」の権限を持つアカウントでログオンしてください。

※Windows Vista では「Administrator」と表示されます。

どのユーザーが「パソコン管理者」であるか分からない場合は、[スタート]ボタン→[コントロール]→[ユーザーアカウント]を選択してください。

画面の下にある現在登録されているアカウントを見ると、管理者権限のあるアカウントには「パソコンの管理者」と表示されています。



Windows Vista では、次の手順で各アカウントの権限を確認できます。

- ① [スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[ユーザーアカウントと家族のための安全設定]→ [ユーザーアカウント] を選択して「ユーザーアカウントの変更」を表示します。
- ② 「別のアカウントの管理」を選択すると、各アカウントの権限を確認できます。<ユーザーアカウント制御>画面が表示された場合は、**続行**をクリックしてください。

Chapter 3

基本操作編

本製品の基本的な操作方法について説明しています。

「Device Serverユーティリティ」およびWeb設定ユーティリティのリファレンスについては、「Chapter 4 応用操作編」をお読みください。

1. プリンタの利用 58
2. スキャナの利用 61
3. マスストレージ、複合機搭載機能の利用 .. 67
4. 接続機器の取り外し 70
5. 切断通知を送信／受信する 72

1 プリンタの利用

本製品を経由してプリンタを利用する方法を説明します。

「Chapter 2 導入編」で、本製品のユーティリティ、ドライバのインストールが完了してからお読みください。

プリンタから印刷する

本製品に接続したプリンタからは、次の手順で印刷します。

本製品がネットワークに接続されていることを確認してから始めてください。

Windows Vistaからの印刷

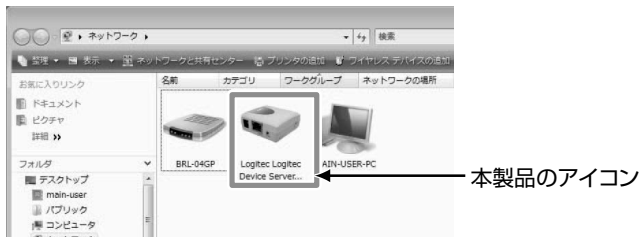
スタートメニューから[ネットワーク]を選択すると、ネットワーク上の本製品が自動的に検索されて表示されます。

1 本製品の電源を入れます。

2 スタートメニューから[ネットワーク]を選択します。



- 3** ネットワーク上に接続された本製品が検索され、本製品のアイコンが表示されます。



- 4** プリンタの電源を入れます。[ネットワーク]画面に表示されたプリンタのアイコンを右クリックし、[接続]を選択します。



- 5** これで準備は完了です。アプリケーションを起動し、通常の印刷と同じようにプリンタを選択して印刷を実行します。

Windows XP/2000からの印刷

P45「本製品の設定 (Windows XP/2000)」でプリンタへの接続手順を説明しています。こちらをお読みください。

プリンタの設定を変更する

本製品は双方向通信機能に対応しています。

インク残量やプリンタヘッドのクリーニングなど、プリンタに付属のユーティリティ機能をパソコンにプリンタを直接接続している場合同様に利用できます。

利用方法については、プリンタに付属のマニュアルをお読みください。

双方向通信機能を利用したプリンタのユーティリティの例



2 スキャナの利用

本製品を経由してスキャナを利用する方法を説明します。

スキャナを導入する

本製品を経由してスキャナを利用するには、「Chapter2. 導入編」でのプリンタ導入と同様に、次の手順でおこなってください。プリンタドライバの代わりにスキャナドライバをインストールする以外の操作は同じです。

1. 本製品をネットワークに接続する
2. ドライバをインストールする
3. ソフトウェアをインストールする
4. ユーティリティでスキャナを選択して接続する

スキャナを操作する

本製品に接続したスキャナを操作する方法を簡単に説明します。詳細については、OSのオンラインヘルプやスキャナのマニュアルをお読みください。スキャナ機能を搭載したプリンタ複合機で説明していますが、スキャナ単体製品でも操作は同じです。

Windows Vistaからのスキャン

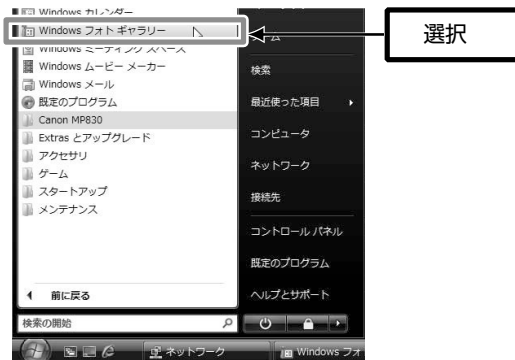
本製品に接続したスキャナを使用して、Windows Vistaの「Windows フォトギャラリー」から画像を取り込む手順を説明します。

- 1** 本製品の電源を入れ、[ネットワーク] 画面でスキャナを接続します。操作は、「プリンタから印刷する」と同じです。P58～59の手順1～4を参照し、プリンタをスキャナに読み替えてください。

- 2** スキャンする原稿をセットします。詳細は、スキャナのマニュアルを参照してください。

2. スキャナの利用

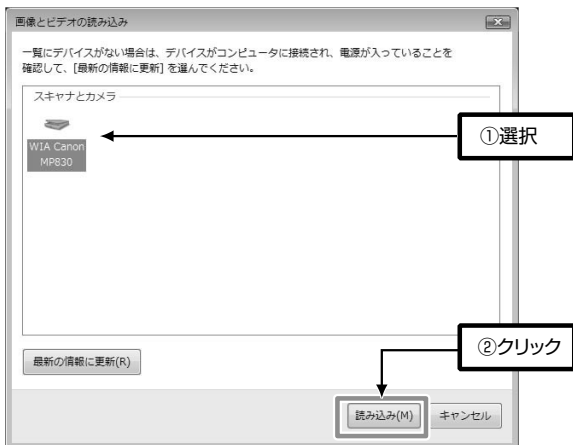
- 3** スタートメニューから「Windowsフォトギャラリー」を選択して起動します。



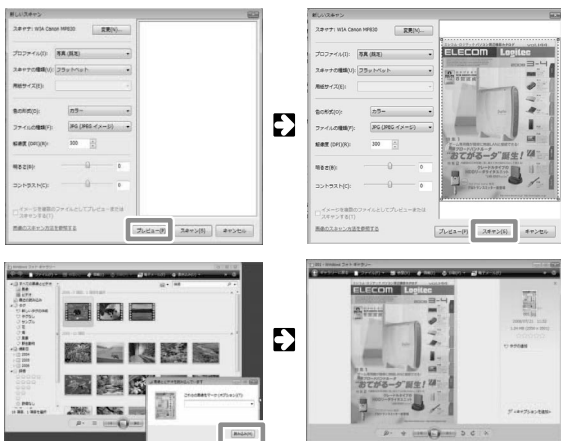
- 4** Windowsフォトギャラリーのメニューから、[ファイル] → [カメラまたはスキャナからの読み込み] を選択します。



- 5** [画像とビデオの取り込み]画面が表示され、スキャナが表示されますので、選択して、**読み込み**をクリックします。



- 6** [新しいスキャン]が表示されますので、指示に従って画像をスキャンし、画像を保存します。これで操作は完了です。



Windows XP/2000からのスキャン

本製品に接続したスキャナを、Windows XPの「スキャナ ウィザード」を利用して操作して画像を取り込む手順を説明します。

本製品がネットワークに接続されていることを確認してから始めてください。スキャナ機能を搭載したプリンタ複合機で説明していますが、スキャナ単体製品でも操作は同じです。

Device Serverユーティリティでスキャナを接続したあとは、スキャナに付属のユーティリティを使用して画像を取り込むこともできます。

※スキャナ本体のスキャンボタンを押しても取り込みません。

※TWAINドライバを搭載したユーティリティのみ利用できます。

1 本製品の電源を入れ、Device Serverユーティリティでスキャナを接続します。

操作は、「プリンタから印刷する」と同じです。

P45「本製品の設定 (Windows XP/2000)」でプリンタへの接続手順を説明しています。こちらをプリンタをスキャナに読み替えてください。

2 スキャンする原稿をセットします。

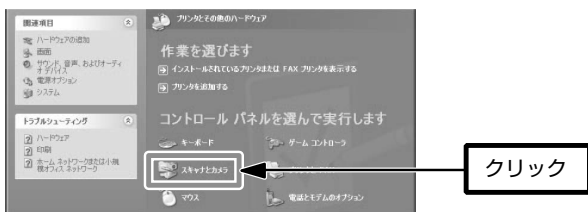
詳細は、スキャナのマニュアルを参照してください。

3 「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします。



「クラシック表示」の場合は、「スキャナとカメラ」をダブルクリックして手順5に進んでください。

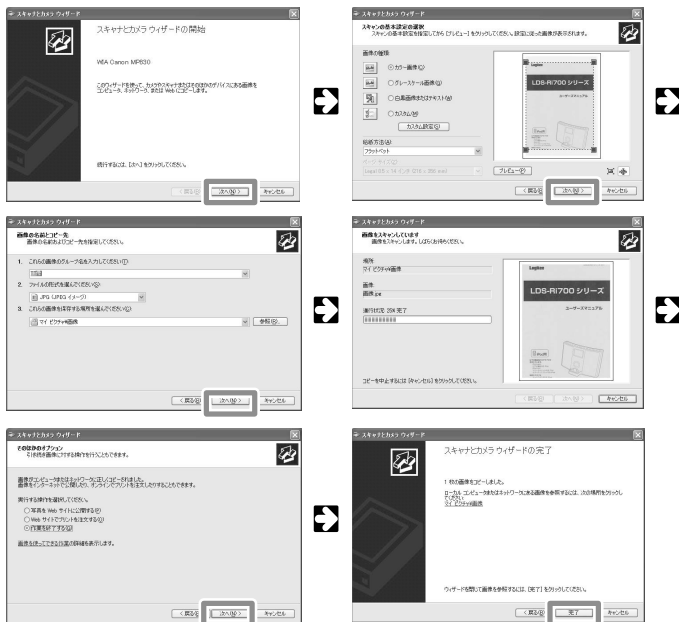
4 「スキャナとカメラ」をクリックします。



5 使用するスキャナを選択し、「画像を取得する」をクリックします。



6 「スキャナとカメラ ウィザード」が起動しますので、指示に従って画像をスキャンして、画像を保存します。これで操作は完了です。



3 マスストレージ、複合機搭載機能の利用

本製品にマスストレージ（USB接続のハードディスク、USBメモリ、USBカードリーダーなど）を接続すると、リムーバブルディスクとして認識され、外部記憶装置として利用できます。

また、プリンタ複合機（プリンタにスキャナやFAXなどの機能を統合した製品）を接続すると、スキャナ、FAX、ストレージデバイス（メモリカードなどの記憶媒体）など、複合機に搭載された機能を本製品経由で利用できます。

○スキャナの利用

→「2. スキャナの利用」（P61）をお読みください。

○FAXの利用

→このあとの「FAXの利用」をお読みください。

○ストレージデバイス（マスストレージ）の利用

→P68「ストレージデバイス（マスストレージ）の利用」をお読みください。

FAXの利用

接続したプリンタがFAX機能を搭載している場合は、プリンタを[ネットワーク]画面、またはDeviceサーバユーティリティで接続することで、本製品経由でFAXを利用できます。

詳細は、プリンタのマニュアルを参照してください。



ストレージデバイス（マスストレージ）の利用

本製品にマスストレージ（USB接続のハードディスク、USBメモリ、USBカードリーダーなど）を接続すると、自動的に認識され、外部記憶領域として利用できません。

また、接続したプリンタが、メモ리카ードスロットやデジタルカメラなどのストレージデバイスを接続する機能を搭載している場合は、プリンタを接続することで、自動的にストレージデバイスも外部記憶領域として利用できます。



プリンタ複合機でサポートされていないストレージデバイスは、本製品経由でも利用できません。

○マスストレージの利用

→P41「本製品の設定（Windows Vista）」をお読みください。

○複合機に搭載されたストレージデバイスの利用

→以下をお読みください。

1 本製品にプリンタを接続し、プリンタが利用できる状態にします。

手順については、P58「プリンタから印刷する」をお読みください。

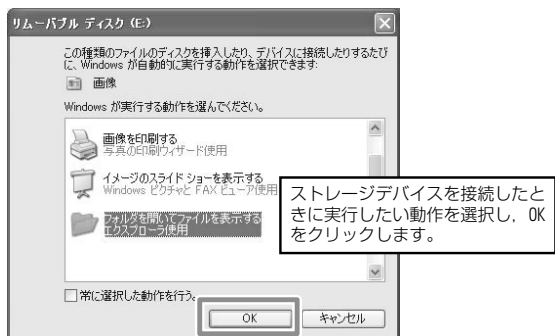
プリンタにメモ리카ードスロットなどのストレージデバイスが搭載されている場合は、自動的に「リムーバブル ディスク」としてマイコンピュータに表示されます。

2 プリンタのメモ리카ードスロットなどに、ストレージデバイスを接続します。

手順については、お使いのプリンタのマニュアルを参照してください。

3 これでは、マイコンピュータやエクスプローラからストレージデバイス内のファイルにアクセスできるようになります。

お使いのWindowsの設定によっては、次の画面が表示されます。目的に応じた動作を選択して「OK」をクリックしてください。



4 接続機器の取り外し

本製品に接続した機器は、[ネットワーク] 画面やユーティリティ上で「切断」して
から取り外してください。

また、本製品経由で接続している機器の電源が切れた場合や、機器を使用しない時
間が長く続くと接続が切断されます。再び接続機器を使用する場合は「接続」操作
をおこなって再接続してください。

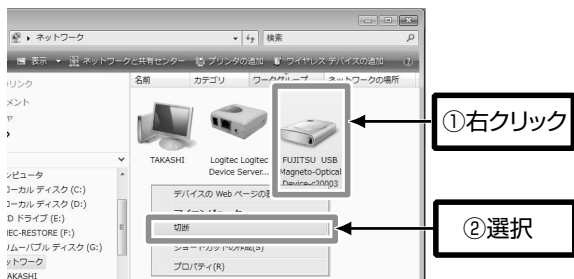


機器を使用中にユーティリティを終了したり、機器を使用中に本製品から
取り外すと、使用中のデータが破損することがあります。必ず[ネットワ
ーク] 画面やユーティリティ上で切断してから取り外してください。

Windows Vistaでの切断操作

本製品への接続を切断するには、[ネットワーク] 画面から切断したい機器
を選択して右クリックし、「切断」を選択します。

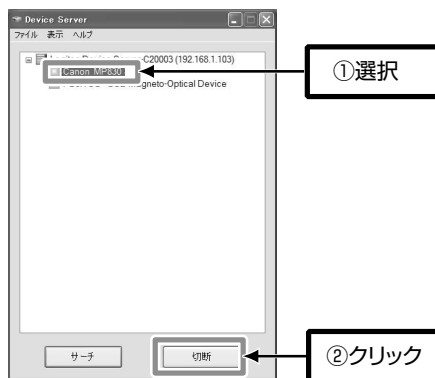
※接続機器に搭載されたストレージデバイスなども同時に切断されます。



Windows XP/2000での切断操作

本製品への接続を切断するには、Device Serverユーティリティから切断したい機器を選択し、**切断** ボタンをクリックします。

※接続機器に搭載されたストレージデバイスなども同時に切断されます。



MEMO 接続機器のアイコンをダブルクリックしても切断できます。

5 切断通知を送信／受信する

本製品に接続したUSB機器は、ネットワーク内で複数のユーザが同時に使用することはできません。

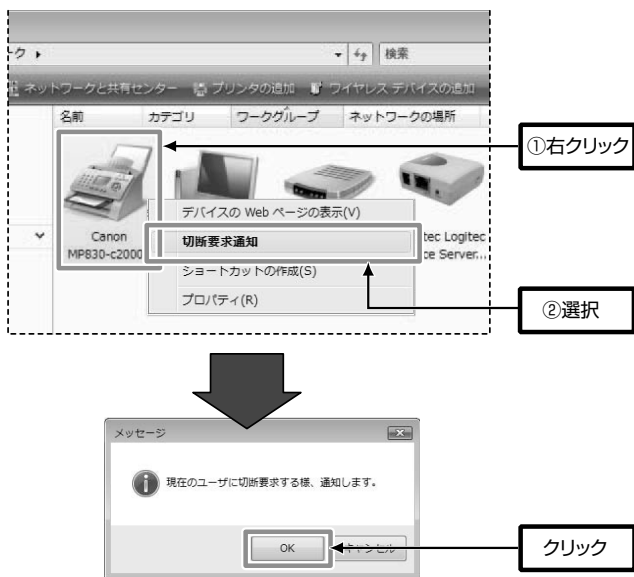
本製品では、他のパソコンがUSB機器を使用しているときに、ユーザに切断を促すため、「切断通知」を送信／受信することができます。

切断通知を送信する

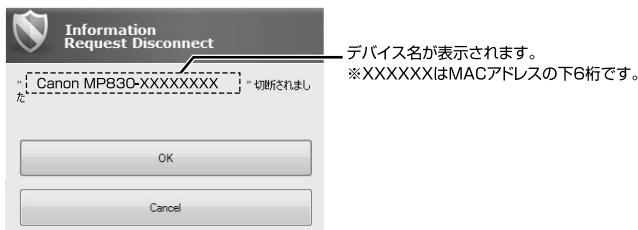
切断通知を送信する手順を説明します。

●Windows Vista

他ユーザが使用しているUSB機器のアイコンを右クリックし、「切断要求通知」を選択します。アイコンをダブルクリックすることでも切断通知を送信できます。

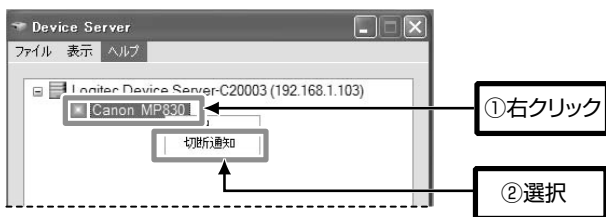


送信相手が通知を受けて切断処理をすると、次の画面が表示されます。
[OK]をクリックしたあと、接続操作をおこなってください。



●Windows XP/2000

他ユーザが使用しているUSB機器のアイコン（赤色）を右クリックし、「切断通知」を選択します。アイコンをダブルクリックすることでも切断通知を送信できます。



送信相手が通知を受けて切断処理をすると、次の画面が表示されます。
[OK]をクリックしたあと、接続操作をおこなってください。



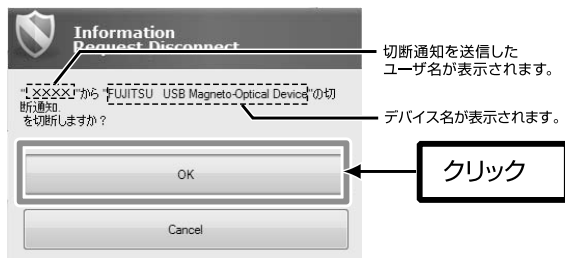
切断通知を受信する

自分が接続しているUSB機器に対して、ネットワーク内の他のユーザが切断通知を送信したときの動作を説明します。

●Windows Vista

他ユーザからの切断通知を受信すると、次の画面が表示されます。

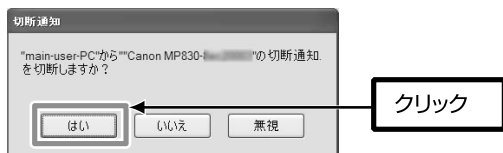
[OK]をクリックすると、USB機器が切断されます。



●Windows XP/2000

他ユーザからの切断通知を受信すると、次の画面が表示されます。

[はい]をクリックすると、USB機器が切断されます。



MEMO

Device Serverユーティリティにより、切断通知の受信をしないように設定することもできます。



Chapter 4

応用操作編

応用操作編では、次の内容について説明しています。
基本操作については、「Chapter 3 基本操作編」をお読みください。

- 管理ソフト「Device Serverユーティリティ」を使って設定できる本製品のオプション機能
- Web設定ユーティリティの設定項目と操作方法

1. Device Severユーティリティのリファレンス	76
2. Web設定ユーティリティについて	86
3. ファームウェアのアップデート	99
4. 本製品のリセットボタンの使用方法	102

1

Device Serverユーティリティのリファレンス

Device Serverユーティリティは、次の機能を持ったソフトウェアです。
Web設定ユーティリティ（→P86）とほぼ同じ機能を持っています。

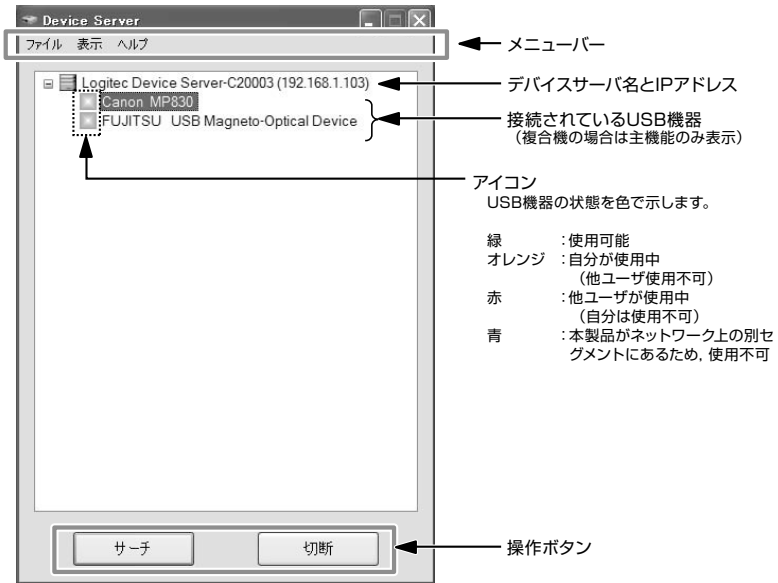
- ネットワーク内のデバイスサーバの検索
- USB機器接続、切断、切断通知
- USB接続機器のステータス表示
- サーバ設定の表示、変更
- 本製品の再起動
- ファームウェア更新/バックアップ
- Web管理画面の起動

MEMO

Device Serverユーティリティは、Windows XP/2000でのみ使用できません。Windows Vistaでの上記設定はWeb設定ユーティリティでおこないます（→P86）。

メイン画面

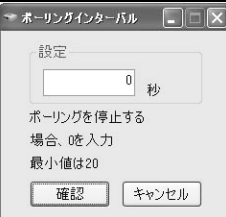
メイン画面について説明します。



メニューバー

メイン画面のメニューバーから選択する機能について説明します。

[ファイル] メニュー

<p>設定</p>	<p>●ポーリングインターバル [ポーリングインターバル] 画面が表示されます。 本製品および本製品に接続されたUSB機器をサーチする時間間隔を設定します。初期値は0で、ポーリングは停止しています。変更する場合は20以上の値を設定してください。</p>	
	<p>●言語選択 ユーティリティの表示言語を設定します。 通常は初期値の「日本語」から変更する必要はありません。</p>	
	<p>●切断通知を受け取る チェック (✓) を付けると、他ユーザからの切断通知を表示します。チェック (✓) を外すと、切断通知を受け付けません。切断通知については、P72「切断通知を送信/受信する」をお読みください。</p>	
<p>終了</p>	<p>Device Serverユーティリティを終了します。 接続中のUSB機器は強制的に切断されます。</p>	

[表示] メニュー

<p>—</p>	<p>●USBサーバーとUSBデバイスを表示 画面上にUSBサーバとUSBデバイスをツリー上に表示します (工場出荷時の初期設定)。</p>	
<p>—</p>	<p>●USBデバイスのみ表示 画面上にUSBデバイスのみ表示します。</p>	

[ヘルプ] メニュー

<p>—</p>	<p>●ユーザーズマニュアル 本製品では動作しません。</p>	
<p>—</p>	<p>●バージョン情報 Device Serverユーティリティのバージョン情報を表示します。</p>	

画面表示

メイン画面の表示項目について説明します。

デバイスサーバ名	<p>デバイスサーバ名と現在のIPアドレスが表示されます。初期値は「Logitech Device Server-XXXXXX」です（XXXXXXはMACアドレスの下6桁）。Web設定ユーティリティ（→P94）および「サーバー設定」画面（→P81）で変更できます。</p> <p>◆ダブルクリック Web設定画面を表示します。</p> <p>◆右クリック サブメニュー「設定」が表示されます。「設定」を選択すると、「サーバー設定」画面が表示されます（→P81）。</p>
USB機器名	<p>接続されているUSB機器名が表示されます。また、アイコンの色でUSB機器の状態が表示されます。USB機器の状態により、次のように動作が異なります。</p>
接続中(オレンジ)	<p>◆ダブルクリック USB機器を切断します。</p> <p>◆右クリック サブメニュー「詳細」が表示されます。「詳細」を選択すると、機器の状態と使用ユーザ名、メーカー情報などが表示されます。</p>
切断中(緑)	<p>◆ダブルクリック USB機器に接続します。</p> <p>◆右クリック サブメニュー「詳細」が表示されます。「詳細」を選択すると、機器の状態と使用ユーザ名、メーカー情報などが表示されます。</p>
他ユーザ使用時(赤)	<p>◆右クリック サブメニュー「詳細」、[切断通知]が表示されます。「詳細」を選択すると、機器の状態と使用ユーザ名、メーカー情報などが表示されます。「切断通知」を選択すると、使用ユーザに切断通知を送信します。切断通知については、P72「切断通知を送信/受信する」をお読みください。</p>

操作ボタン

メイン画面の操作ボタンについて説明します。

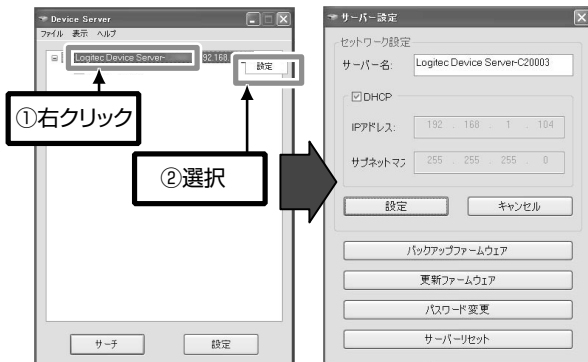
サーチ	ネットワーク上の本製品、および本製品に接続したUSB機器の状態をチェックし、表示を更新します。
設定／接続／切断	画面に表示された本製品、およびUSB機器に対しての操作を実行するボタンです。ボタンの名称は、画面の状態により、実行する機能に対応した名称に変わります。 ●設定 : Web設定画面を表示します。 ●接続 : 選択したUSB機器に接続します。 ●切断 : 選択したUSB機器から切断します。

[サーバー設定] 画面

メイン画面で本製品を選択して右クリックし、[設定] を選択すると、[サーバー設定] 画面が表示されます。

[サーバー設定] 画面の機能は次のとおりです。

- ネットワーク設定
- ファームウェアのバックアップ
- ファームウェアの更新
- パスワードの変更
- 再起動 (リセット)



USBデバイスが接続状態（アイコンがオレンジ色または赤色）の場合は、サーバを右クリックしても [設定] が表示されません。

このような場合は、すべてのUSBデバイスを切断した状態にしてやり直してください。

ネットワーク設定

[サーバー設定] 画面の「ネットワーク設定」の設定項目について説明します。

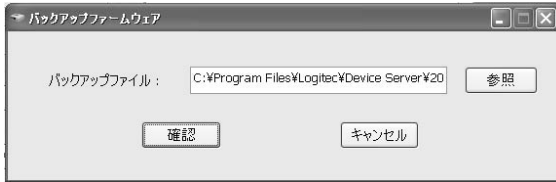
サーバー名	<p>デバイスサーバー名が表示されます。</p> <p>初期値は「Logitech Device Server-XXXXXX」です (XXXXXXはMACアドレスの下6桁)。</p> <p>任意のサーバー名を入力し、設定 ボタンをクリックすると、サーバー名を変更できます。</p>
DHCP	<p>チェック (✓) を付けると、本製品のIPアドレスをネットワーク内のDHCPサーバから自動取得します。</p> <p>工場出荷時の初期状態ではチェック (✓) が入っています。</p>
IPアドレス	<p>本製品のIPアドレスを手動設定する場合に、この場所にIPアドレスを入力します。[DHCP] にチェック (✓) が入っているときのみ入力できます。</p> <p>DHCPサーバから自動取得している場合は、現在の値が表示されています。</p> <p>変更した値は、設定 ボタンをクリックすると有効になります。</p>
サブネットマスク	<p>本製品のIPアドレスを手動設定する場合に、この場所にサブネットマスクを入力します。DHCPサーバから自動取得している場合は、現在の値が表示されています。</p> <p>変更した値は、設定 ボタンをクリックすると有効になります。</p>

MEMO

Web設定ユーティリティでは、[設定] メニューの [IP設定] 画面で同様の設定ができます (→P95)。

バックアップファームウェア

[サーバー設定] 画面の「バックアップファームウェア」をクリックすると、次の画面が表示されます。



バックアップ先を選択/入力し、**確認** ボタンをクリックすると、選択した場所にファームウェアをバックアップします。

バックアップファイルの名称、場所の初期値は次のとおりです。任意の名称、場所に変更できます。

c:\Program Files\Logitec\Device Server\xxxxxxxxxxxxx.bin
“xxxxxxxxxxxxx” は、バックアップを実行した年月日と時刻です。
ドライブ名はご使用の環境により異なります。
例：2008年7月21日16時40分にバックアップした場合のファイル名
200807211640.bin



Web設定ユーティリティでは、ファームウェアのバックアップはできません。

更新ファームウェア

[サーバー設定] 画面の「更新ファームウェア」をクリックすると、次の画面が表示されます。



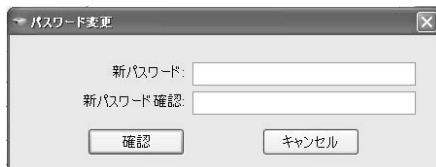
「更新ファイル」に、バックアップしたファームウェアまたは弊社Webサイトなどから入手した最新ファームウェアの場所とファイル名 (xxx.bin) を入力し、**確認** ボタンをクリックすると、選択したファイルで本製品のファームウェアを更新します。



Web設定ユーティリティでは、[Misc] メニューの [F/Wアップデート] 画面で同様の設定ができます (→P97)。

パスワード変更

[サーバー設定] 画面の「パスワード変更」をクリックすると、次の画面が表示されます。



「新パスワード」および「新パスワード確認」に、パスワードを入力し、**確認** ボタンをクリックすると、Device Server ユーティリティにパスワードを設定できます。

初期状態ではパスワードは設定されていません。
パスワードは半角英数字31文字以内で設定してください。記号の併用も可能です。



パスワードを忘れると、Device Serverユーティリティにログインできなくなります。必要に応じてメモなどに残すようにしてください。

MEMO

- Web設定ユーティリティでは、[設定]メニューの[サーバ設定]画面で同様の設定ができます(→P94)。
- パスワードが設定された状態で「新パスワード」および「新パスワード確認」を空欄にして **確認** ボタンをクリックすると、パスワードが初期化されます。

サーバーリセット

[サーバ設定]画面の「サーバーリセット」をクリックすると、本製品が再起動されます。



再起動時には確認画面が表示されません。
USB機器を接続している場合は、切断してから実行してください。

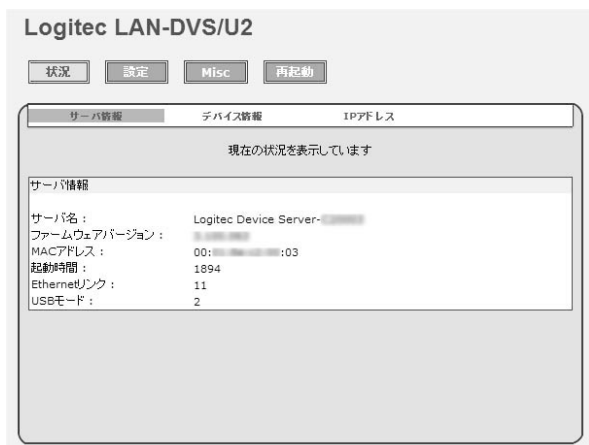
MEMO

Web設定ユーティリティでは、[再起動]メニューで同様の設定ができます(→P98)。また、製品本体のリセットボタンでも本製品を再起動できます(→P102)。

2 Web設定ユーティリティについて

本製品には、Webブラウザに対応した設定ユーティリティがあります。
Web設定ユーティリティには、次の機能があります。

- サーバ情報（サーバ名、IPアドレス）の表示／変更
- 接続デバイス情報の表示
- 管理者パスワードの入力／変更
- 本製品の初期化、再起動
- 本製品のファームウェア更新



Windows XP/2000での上記設定はDevice Serverユーティリティでおこなうこともできます (→P76)。

Web設定ユーティリティの表示方法

OSによって表示方法が異なります。
ご使用のOSの説明をお読みください。

MEMO

●Web管理画面のパスワード

本製品にパスワードが設定されている場合は、次の画面が表示されます。

「ユーザ名」、「パスワード」の両方に設定したパスワードを入力して、

OK ボタンをクリックしてください。工場出荷時の初期設定では、パスワードは設定されていません。

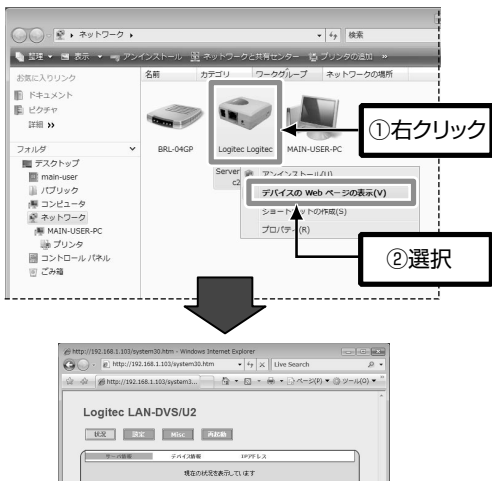


2. Web設定ユーティリティについて

●Windows Vista

次の2種類の方法があります。

- ① [ネットワーク] 画面で本製品のアイコンを右クリックし、[デバイスのWebページの表示] を選択する。
- ② [ネットワーク] 画面で本製品のアイコンをダブルクリックする。

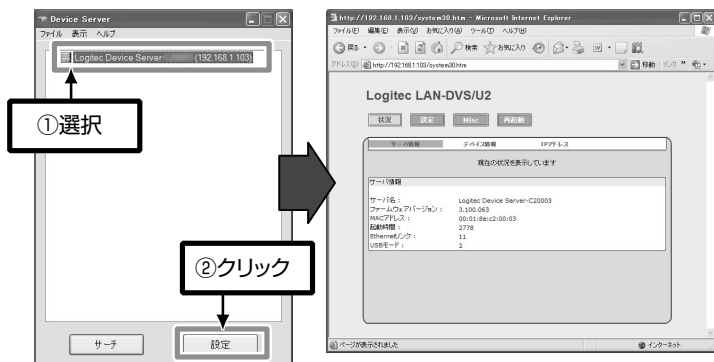


本製品のIPアドレスを固定にしている場合は、Webブラウザのアドレス入力欄に「http://(本製品のIPアドレス)」を入力してEnterキーを押すことでWeb設定ユーティリティを表示できます。

●Windows XP/2000

次の2種類の方法があります。

- ① Device Serverユーティリティ上で本製品を選択して、**設定** ボタンをクリックする。
- ② Device Serverユーティリティ上で本製品をダブルクリックする。



MEMO

本製品のIPアドレスを固定している場合は、Webブラウザのアドレス入力欄に「http://(本製品のIPアドレス)/」を入力してEnterキーを押すことでもWeb設定ユーティリティを表示できます。

Web設定ユーティリティのリファレンス

Web設定ユーティリティの設定項目について説明します。



設定を変更した場合は、必ず **設定及び再起動** ボタンをクリックしてください。そのままWebブラウザを閉じても変更内容は反映されません。

- [状況] メニュー →P91
- [設定] メニュー →P94
- [Misc] メニュー →P96
- [再起動] メニュー →P98

[状況] メニュー

[状況] メニューでは、システム情報、TCP/IP情報を表示します。

●サーバ情報

本製品のシステム情報を表示します。



サーバ名	本製品のネットワーク上の名称です。 初期値は次のとおりです。 Logitech Device Server-“MACアドレスの下位6桁”
ファームウェアバージョン	本製品のファームウェアのバージョンです。
MACアドレス	本製品のMACアドレスです。
起動時間	本製品を起動してからの経過時間です（単位：秒）。
Ethernetリンク	※表示された数値は、本製品の動作には直接関係ありません。
USBモード	

2. Web設定ユーティリティについて

●デバイス情報

本製品に接続されたUSB機器のシステム情報を表示します。

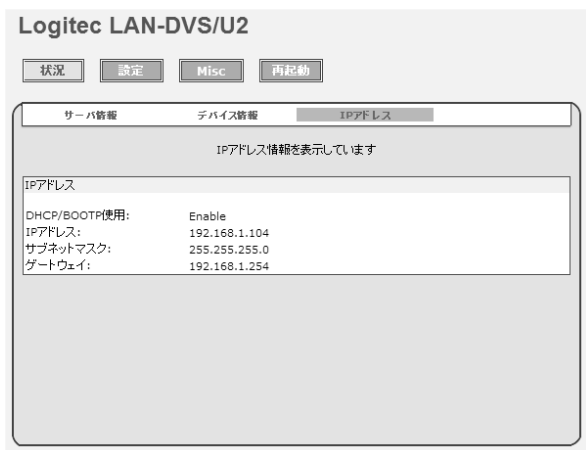
The screenshot shows the 'Logitech LAN-DVS/U2' web utility interface. At the top, there are tabs for '状況' (Status), '設定' (Settings), 'Misc', and '再起動' (Restart). Below these are sub-tabs for 'サーバ管理' (Server Management), 'デバイス管理' (Device Management), and 'IPアドレス' (IP Address). The main content area is titled '接続されているUSBデバイスの状況を表示しています' (Displaying the status of connected USB devices). It lists four devices, each with the following information: Device Name, Link Status, Device Status, Connection User, User's IP Address, and USB Mode.

デバイス名	リンク状況	デバイス状況	接続ユーザ	ユーザのIPアドレス	USBモード
FUJITSU USB Magneto-Optical Device	Online	Ready		0.0.0.0	2
				0.0.0.0	2
				0.0.0.0	2
				0.0.0.0	2

デバイス名	USB機器の名称です。
リンク状況	USB機器のリンク状況です。 ・ Online 使用可能です。 ・ Busy 他ユーザが使用中です。
デバイス状況	USB機器のデバイス状況です。「Ready」と表示されていれば、そのデバイスは使用可能です。
接続ユーザ	USB機器に接続しているネットワークユーザ名です。
ユーザのIPアドレス	USB機器に接続しているパソコンのIPアドレスです。
USBモード	※表示された数値は、本製品の動作には直接関係ありません。

●IPアドレス

本製品のIPアドレス情報を表示します。



DHCP/BOOTP 使用	<p>DHCPクライアント機能の状態です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable DHCPクライアント機能は有効です（初期値）。本製品のIPアドレスはネットワーク内のDHCPサーバから自動取得されます。 • Disable DHCPクライアント機能は無効です。本製品のIPアドレスは手動で設定する必要があります。
IPアドレス	<p>本製品のIPアドレスです。 初期状態では、DHCPサーバから自動取得された値が表示されます。</p>
サブネットマスク	<p>本製品のサブネットマスクです。 初期状態では、DHCPサーバから自動取得された値が表示されます。</p>
ゲートウェイ	<p>本製品のゲートウェイアドレスです。 初期状態では、DHCPサーバから自動取得された値が表示されます。</p>

[設定] メニュー

[設定] メニューでは、システム情報、TCP/IP情報を変更します。

●サーバ設定

サーバ名、管理者パスワードを設定します。

Logitech LAN-DVS/U2

状況 設定 Misc 再起動

サーバ設定 IP設定

サーバ名及びパスワードを設定します

サーバ設定

サーバ名: Logitech

パスワード設定

現在のパスワード: Must provide IF Available

新パスワード:

新パスワードの再入力:

設定及び再起動

サーバ設定	<p>[サーバ名] に本製品のネットワーク上の名称を設定します。初期状態では、「Logitech」と登録されています。半角31文字まで入力可能です。英数字のほか「-（ハイフン）」が使用できます。大文字/小文字は区別されません。また、以下の名称と重ならないように設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none">・ Novell NetWareファイルサーバ・ Novellネットワーク用に構成されたプリントサーバ・ Microsoftネットワーククライアントまたはサーバ
パスワード設定	<p>本製品の設定を変更するときにパスワードを入力させたい場合に、管理者パスワードを設定します。初期状態ではパスワードは設定されていません。パスワードは、半角英数字15文字まで入力できます。[新パスワード] に任意のパスワードを入力し、[新パスワードの再入力] に確認のためもう一度同じパスワードを入力します。</p>



ネットワーク内で複数のデバイスサーバを使用している場合は、同じ名称にならないようにサーバ名を変更してください。

●IP設定

本製品のIPアドレスを設定します。

Logitech LAN-DVS/U2

状況 設定 Misc 再起動

サーバ設定 IP設定

IPアドレスを設定します

IPアドレス設定

DHCPクライアント:

IPアドレス: ...

サブネットマスク: ...

ゲートウェイ: ...

パスワード確認

パスワード: Must provide If Available

DHCPクライアント	「有効」に設定すると、自動的に本製品のIPアドレス等 を取得できます。ルータなどのDHCPサーバ機能をご 使用の場合はこちらを選択します（初期状態）。 手動でIPアドレスを設定する場合は、「無効」に設定し ます。
IPアドレス	ネットワーク内にDHCPサーバ機能がない場合に実際 のネットワークに合わせてIPアドレスを入力します。
サブネットマスク	ネットワーク内にDHCPサーバ機能がない場合に実際 のネットワークに合わせてサブネットマスクを入力し ます。
ゲートウェイ	ネットワーク内にDHCPサーバ機能がない場合に実際 のネットワークに合わせてゲートウェイアドレスを入 力します。
パスワード	管理者パスワードを設定している場合にパスワードを 入力します。

[Misc] メニュー

[Misc] メニューでは、本製品の設定内容の初期化、ファームウェア更新をおこないます。

●工場出荷時設定



管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力し、**OK** ボタンをクリックすると、本製品の設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

●F/Wアップデート

The screenshot shows the 'Logitech LAN-DVS/U2' web interface. At the top, there are four buttons: '状況', '設定', 'Misc', and '再起動'. Below these is a navigation bar with '工場出荷時設定' and 'F/Wアップデート'. The main content area contains the following text: 'F/Wをアップデートします。', 'ロジテック株式会社のホームページでは、最新の情報をご提供しています。', and 'ホームページアドレス : http://www.logitech.co.jp/'. There are two input fields: one for 'F/Wアップデート' with a '参照...' button, and another for '現在のパスワード' with the label 'パスワード:' and the text 'Must provide If Available'. At the bottom, there is a button labeled 'アップデートします'.

本製品のファームウェアを更新します。

操作方法については、「3. ファームウェアのアップデート」(P99)を参照してください。

[再起動] メニュー

本製品を再起動します。動作が不安定になった場合は、本製品を再起動することで改善されることがあります。

本製品を再起動するには、**OK** ボタンをクリックします。

画面に「再起動中」と表示されますので、再起動が完了し、画面が基に戻るまでお待ちください。再起動を完了するまでは数十秒かかります。

※管理者パスワードを設定している場合は、パスワードの入力が必要です。

The screenshot shows the 'Logitech LAN-DVS/U2' web interface. At the top, there are four buttons: '状況', '設定', 'Misc', and '再起動'. The '再起動' button is highlighted. Below the buttons, the text reads: '再起動できます。', '本製品を再起動します', and '設定を有効にするには再起動が必要です。'. There is a section titled '現在のパスワード' with a label 'パスワード:' and an input field. To the right of the input field, it says 'Must provide If Available'. Below the input field is an 'OK' button.

3 ファームウェアのアップデート

本製品は、内蔵されたフラッシュメモリにより、容易にファームウェアをアップデートできます。最新情報は、弊社のホームページ（<http://www.logitech.co.jp/>）で確認してください。

アップデート作業は、次の手順でおこなってください。

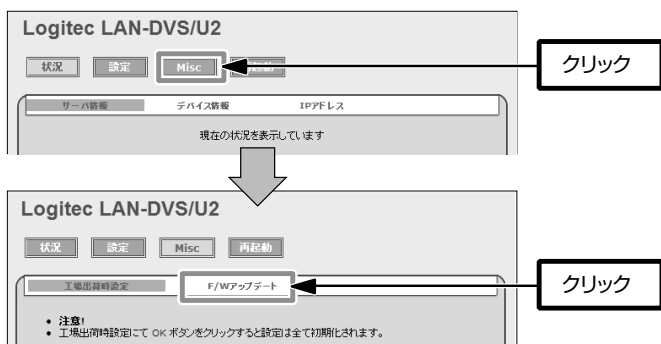
- 1 本製品に接続可能なパソコンに、ダウンロードしたアップデートファイルをコピーします。

アップデートファイルは、「xxx.bin」の形式で提供されます。
任意の場所にコピーしてかまいません。

- 2 Web設定ユーティリティを起動します。

「Web設定ユーティリティの表示方法」（P87）を参照してください。

- 3 [Misc]→[F/Wアップデート]を選択します。

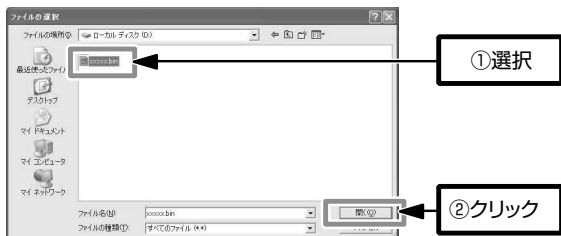


3. ファームウェアのアップデート

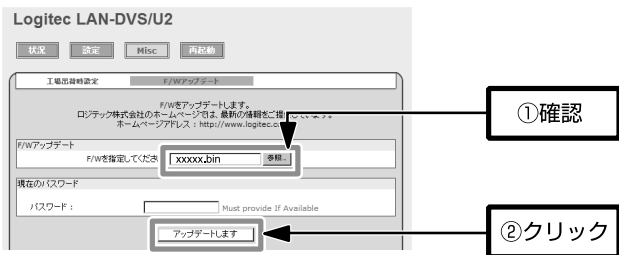
4 参照 ボタンをクリックします。



5 「ファイルの選択」ダイアログが表示されます。アップデートファイルを選択して、開く ボタンをクリックします。



6 「ファイル名」にアップデートファイルが表示されていることを確認して、アップデートします ボタンをクリックします。アップデートが終わると本製品が再起動します。これでアップデート作業は完了です。





更新中は絶対に電源を切らないでください。保存した情報がなくなるばかりか、本製品が正常動作しなくなってしまうことがあります。



管理者パスワードを設定している場合は、**アップデートします** をクリックする前に、[パスワード]にパスワードを入力する必要があります。

4 本製品のリセットボタンの使用方法

本製品のリセットボタンの使用方法について説明します。

リセットボタンの位置については、「本体各部の名称とはたらき」(P9)をお読みください。

リセットボタンには、次の2つの機能があります。

- ①本体の再起動
- ②本体の初期化（工場出荷時の状態に戻す）

本体の再起動

まっすぐに伸ばしたゼムクリップなど先の細いものを用意します。

電源を投入したまま、用意したゼムクリップなどでリセットボタンを押し、すぐに放すと、本製品が再起動されます。

本体の初期化

まっすぐに伸ばしたゼムクリップなど先の細いものを用意します。

本製品の電源を一度切断し、用意したゼムクリップなどでリセットボタンを押した状態で電源を投入します。電源を投入して数秒後に放すと、本製品の設定が工場出荷時の状態に初期化されます。



すべての設定が初期化されますので、必要に応じて設定情報をメモなどに残すようにしてください。

Chapter 5

付録編

付録編では、次の内容について説明しています。必要に応じてお読みください。

- トラブルが発生した場合の対処方法

1. こんなときは …………… 104
2. 基本仕様 …………… 111

どのパソコンからも印刷できない

●必要な設定をすべてのパソコンにおこないましたか？

→別紙「セットアップガイド」の「セットアップの手順を確認しましょう」をお読みになり、すべての作業が完了しているかを確認してください。

●機器の電源は入っていますか？

→印刷を実行するパソコンの電源以外に、ルータ／ハブ(使用している場合)、プリンタ、本製品の電源を入れておく必要があります。また、ルータをご使用の場合、最初にルータの電源を入れるようにしてください。

●各機器のケーブルは正しく接続されていますか？

→別紙「セットアップガイド」の接続の説明をお読みになり、正しく接続されていることを確認してください。

●プリンタが「オフライン」になっていませんか？

→プリンタが「オフライン」になっていると印刷できません。[コントロールパネル] → [プリンタ] でプリンタのアイコンを表示し、アイコンが淡色表示になっている場合は、プリンタが「オフライン」になっています。プリンタのアイコンを右クリックし、[プリンタをオンラインで使用する] を選択して「オンライン」の状態に変更してください。

●DHCPサーバ機能がないネットワークの場合、IPアドレスの設定はしましたか？

→DHCPサーバ機能がないネットワークでは、各パソコンのTCP/IPプロトコル設定で、IPアドレス、サブネットマスクなどを手動で設定する必要があります。また、同じネットワーク上のパソコンのIPアドレスは重複しないように設定する必要があります。以下の該当ページを参考にTCP/IPプロトコルの設定を確認してください。

Windows Vista の場合→ P18

Windows XP/2000 の場合→ P24

特定のパソコンから印刷できない

●そのパソコンのTCP/IPプロトコルは使用可能になっていますか。IPアドレスの設定は正しいですか？

A. ネットワーク上の各パソコンは、TCP/IPプロトコルが使用可能な状態にしておく必要があります。

B. DHCPサーバ機能がある場合は、IPアドレスが自動取得されるように設定しておく必要があります。

C. DHCPサーバ機能がない場合は、IPアドレスを手動で割り当てる必要があります。このとき、ほかのパソコンのIPアドレスと重複してはいけません。

A・B・Cいずれの場合も、以下の該当ページを参考にTCP/IPプロトコルの設定を確認してください。

Windows Vista の場合→ P18

Windows XP/2000 の場合→ P24

●プリンタドライバはインストールしましたか？

→各パソコンには、プリンタを直接接続して印刷するときと同じようにプリンタドライバをインストールする必要があります。→ P15

●ソフトウェアをインストールしましたか？

→本製品を経由してプリンタから印刷するには、本製品のソフトウェアパックに収録されているソフトウェアをインストールする必要があります。

→ P16

● [ネットワーク] 画面またはDevice Serverユーティリティでプリンタを接続しましたか？

→ソフトウェアをインストールした後に、ご使用になるプリンタを登録する必要があります。

○Windows Vistaの場合 → [ネットワーク] 画面で接続 (P41)

○Windows XP/2000の場合 → Device Serverユーティリティ (P45)

パソコンのIPアドレスがわからない

→P17の「パソコンのネットワーク設定を確認する」または、P107「パソコンのIPアドレスを知りたいとき」を参考にして確認してください。

デバイスサーバが検出できない

●本製品とパソコンは同じセグメントにいますか？

→本製品とパソコンは、ネットワーク上で同一のセグメント (IPアドレスの左から3つ目までの数値が同一) にいる必要があります。本製品とパソコンのIPアドレスを確認してください。

●市販のセキュリティソフトが有効になっていませんか？

→市販のセキュリティソフトにより、デバイスサーバとの通信が制限されている可能性があります。可能であれば、設定が完了するまで一時的にセキュリティソフトを無効にしてください。

●Windowsファイアウォールが有効になっていませんか？

→パソコンのOSがWindows VistaまたはWindows XPのSP2の場合、「Windowsファイアウォール」が有効になっていると、本製品を検出できないことがあります。P107の「本製品を「Windowsファイアウォール」の例外に設定する」をお読みになり、本製品を「例外」に設定してください。
※正しくインストールすれば例外になっています。

パソコンのIPアドレスを知りたいとき

コマンドプロンプトを表示し、「ipconfig」を実行してください。

- ①[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]を選択します。
- ②「>」の後ろでカーソル点滅していますので、キーボードから「ipconfig」と入力し、**Enter**キーを押します。
- ③IPアドレス等が表示されます。

```
C:\Documents and Settings\User>ipconfig

Windows IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

    Connection-specific DNS Suffix  . : WorkGroup
    IP Address. . . . . : 192.168.1.16
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . . : 192.168.1.254
```

本製品を「Windowsファイアウォール」の例外に設定する

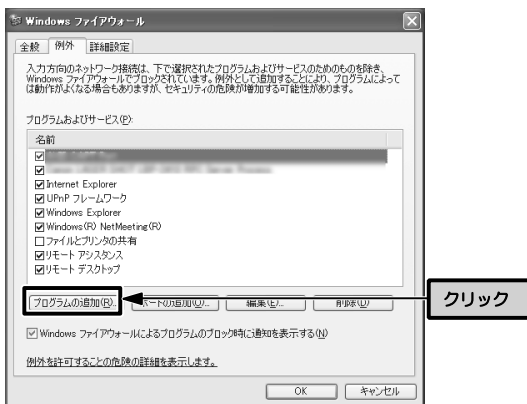
- ① [コントロールパネル] から「Windowsファイアウォール」を選択します。

Windows Vistaでは、「Windowsファイアウォールによるプログラムの許可」を選択します。<ユーザーアカウント制御>画面が表示されますので、

続行 ボタンをクリックしてください。

- ②<例外>タブをクリックします。
- ③ **プログラムの追加** ボタンをクリックします。

1. こんなときは



- ④ 「プログラムの追加」ダイアログが表示されますので、「Device Server」を選択して、**OK** ボタンをクリックします。
- ⑤ 「プログラムおよびサービス」に「Device Server」が表示され、チェックマークが有効(し)になっていることを確認し、**OK** ボタンをクリックします。
- ⑥ これで、本製品がWindowsファイアウォールの例外に設定されました。

ドライバの正常インストール確認 (Windows Vista)

Windows Vistaで本製品経由でUSB機器に接続するとき、USB機器のアイコンを右クリックしても「接続」が表示されず、「ドライバがインストールされていないか...」と表示されることがあります (→P43)。



このような場合は本製品のドライバが正常にインストールされていない可能性があります。次の手順で確認し、再インストールしてください。

- 1** スタートメニューの [コンピュータ] を右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] を選択します。

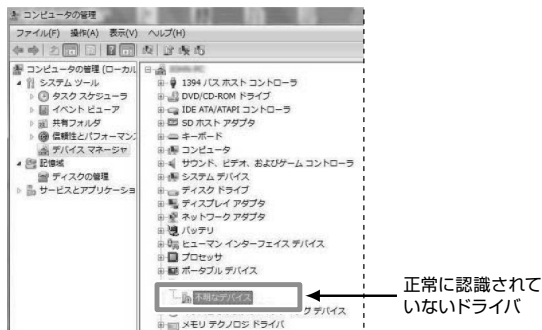


- 2** [システム] 画面が表示されますので、タスクメニューの [デバイスマネージャ] をクリックします。



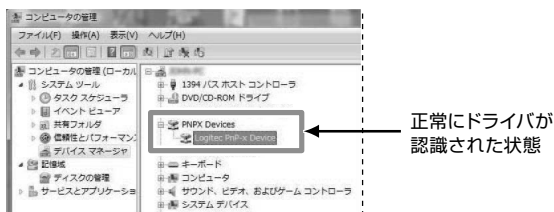
[ユーザーアカウント制御] 画面が表示された場合は、**続行** をクリックして操作を続けます。

- 3** デバイスマネージャが表示されます。「不明なデバイス」が表示されていることを確認してください。



1. こんなときは

正常にインストールできていれば、本製品のドライバは、「PNPX Devices」として登録されています。



ドライバが正常にインストールされていないことを確認したら、P37「ソフトウェアのアンインストール」をお読みになり、ドライバをアンインストールして、セットアップをやり直してください。

2 基本仕様


規格	IEEE802.3u (100BASE-TX) / IEEE802.3 (10BASE-T), USB2.0 High-Speed
転送スピード (理論値)	100Mbps (100BASE-TX) / 10Mbps (10BASE-T)
インターフェイス	ネットワークインターフェイス : RJ-45 (Auto MDI/MDI-X) USBインターフェイス : USBコネクタA (メス) ※ USB2.0 High-Speed (従来のUSB1.1にも対応)
電源仕様	AC100V±10% (50/60Hz)
消費電力 (定格)	1.6W (ACアダプタを含む)
対応機種	PC/AT互換機 (DOS/V) でTCP/IPプロトコルによるネットワーク通信が可能な機種 (自作機を除く)
対応OS	Windows Vista (32ビット版) Windows XP Home Edition/Professional Edition (SP2以降) Windows 2000 Professional (SP4以降)
対応プリンタ/ 対応機器	USB (USB1.1以上) タイプのプリンタポートを持つプリンタ, スキャナ, およびプリンタを基本機能とした複合機, マスストレージ (USBハードディスク, USBメモリ, USBカードリーダー) ※ USB1.1にのみ対応のプリンタを接続した場合, USB1.1 (理論値12bps) で動作します。
対応プロトコル	TCP/IP ※ Windows Printing Systemには対応していません。
EMI規格	VCCI class B
環境条件	動作時: 温度0°C~+40°C / 湿度0%~70% (結露なきこと) 保管時: 温度-5°C~+65°C / 湿度0%~80% (結露なきこと)
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	52.5×56.0×22.5mm
質量	約32g (付属品含まず)

2. 基本仕様

- 最新の動作環境は、弊社ホームページ (<http://www.logitech.co.jp>) でご確認ください。
- すべてのパソコン、OS環境からの動作を保証するものではありません。
- すべてのプリンタ（複合機含む）、スキャナでの動作を保証するものではありません。
- ご利用のOSに対応したプリンタドライバが供給されていないプリンタでは、印刷できません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

デバイスサーバ ユーザーズマニュアル (LAN-DVS/U2用)

発行  **ロジテック株式会社** 2008年8月 第1版

©2008 LOGITEC CORPORATION. All rights reserved.

Logitec